

令和6年度  
卒業生・修了生・事業所へのアンケート  
調査

報告書

Ⅱ 事業所（卒業生・修了生の就職先）  
へのアンケート調査

三重大学教育推進・学生支援機構  
教育企画部門

# 目次

1. 調査の概要と分析対象者について .....	1
2. 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する事業所の評価.....	4
3. 事業所において重要だと思われる力 .....	14
4. 三重大学の教育において養成することが望ましいと思われる力.....	28
5. 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力 .....	42
6. 三重大学の教育や卒業生・修了生に関する意見・感想 .....	56
7. 資料 .....	62

# 1. 調査の概要と分析対象者について

## 1.1 調査の概要

### 1.1.1 調査の目的

三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを検討する目的で、「三重大学の卒業生（本アンケートでは、「卒業生」という）、もしくは三重大学大学院修了生（本アンケートでは、「修了生」という）が就職した事業所」を対象に、教育満足度や自己評価及び教育ニーズを調査した。本調査結果は、三重大学の教育の改善のために活用する。

### 1.1.2 調査の設計

(1) 調査対象 令和5年度三重大学卒業生及び修了生が就職した事業所

(2) 調査時期 令和6年12月から令和7年2月まで

(3) 調査方法 Google Formによるウェブ調査

卒業生／修了生が就職した事業所宛てに、依頼文と卒業生／修了生リスト、調査用紙を同封した封書を郵送した。依頼文に、回答用google formへのリンクが記載してあり、当該フォームから回答するよう依頼した。なお、卒業生／修了生リストには、当該事業所に就職した卒業生／修了生の氏名と在学中に所属していた学部・学科が記載してあり、複数名が就職した事業所には、リストに記載された卒業生／修了生ごとに回答していただくよう依頼した。事業所名や業種、規模等、回答した事業所を特定できる情報は、調査項目に含まれていない。

(4) 有効回答者数（率） 右表参照。なお、発送数には、宛先不明等により郵便物が配達されなかった数は含まれていない。

表 1-1 発送と回収について

	(卒業生) 事業所就職	(修了生) 事業所就職
	アンケート数	アンケート数
発送数	777	386
回収数	297	120
回収率(%)	38.2%	31.1%

※同一事業所に卒業生及び修了生が複数就職した場合、人数分の回答を依頼した。

### 1.1.3 調査の内容

調査した項目内容を以下に示す。なお、実施した調査用紙は、本報告書の末尾に付録として添付した。

表 1-2 調査内容（卒業生・修了生の就職した事業所対象）

該当する章	質問項目分類	項目数／選択肢数	詳細
第1章	基本事項	2項目	卒業生／修了生が在学時に所属していた学部／研究科、学科／専攻
第2章	卒業生／修了生の4つの力に対する事業所の評価	12項目	卒業生／修了生の力がどの程度身についているかをたずねた。
		5段階評定	選択肢は「身につけていない」「わずかが身につけている」「少し身につけている」「ある程度身につけている」「十分身につけている」の5つである。加えて、5つの中から選択が難しい場合を想定し、「評価できない」を追加で設けた。
第3章	各事業所において重要だと 思われる力	12個の選択肢の中から 自由に選択	IIで取り上げられた「4つの力」の各要素のうち、事業所において重要と思われるものについてたずねた。
第4章	三重大学の教育に対する ニーズ	12個の選択肢の中から 自由に選択	三重大学の教育を通して要請されることが望ましいと思われる力についてたずねた。
第5章	新人研修や新人教育で重 要視する力	17個の選択肢の中から 4つ選択	事業所が新人研修や新人教育で重要視している力についてたずねた。
第6章	意見と感想	自由記述	三重大学/大学院の教育や卒業生／修了生についての意見と感想をたずねた。

## 1.2 卒業生／修了生の所属していた学部／研究科

事業所が回答の対象とした卒業生が在学中に所属していた学部、もしくは、修了生が所属していた研究科ごとに回答件数を集計した。卒業学部の区分は、卒業学部ごとの特徴を明らかにするため、「第2章 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する事業所の評価」の集計・分析にて用いた。修了研究科の区分は、回答数が少ない研究科があるため研究科別の集計・分析は行わないこととした。

表 1-3 卒業生（評価対象者）が所属していた学部

人 文 学 部	教 育 学 部	医 学 部	工 学 部	生 物 資 源 学 部	所 属 不 明	合 計
83	81	18	56	52	7	297

表 1-4 修了生（評価対象者）が所属していた研究科

研 究 科 学	教 育 学 研 究 科	医 学 系 研 究 科	工 学 研 究 科	生 物 資 源 学 研 究 科	地 域 イ ン フ ォ ー メ ー シ ョ ン 学 研 究 科	所 属 不 明	合 計
1	7	9	56	36	8	3	120

## 2. 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する事業所の評価

### 2.1 卒業生に対する事業所の評価

卒業生が従事する各事業所に、各卒業生に4つの力がどの程度身についているかを、「身につけていない」から「十分身につけている」の5段階で回答を求めた(12項目。第I部 卒業生と修了生「第3章 三重大学の教育・研究で身につけたこと」の項目と共通)。5段階の他に「評価できない」という選択肢を設けた。平均値と標準偏差は「十分身につけている」を5点、「ある程度身につけている」を4点、「少し身につけている」を3点、「わずかだが身につけている」を2点、「身につけていない」を1点として加点して算出した。

#### 2.1.1 事業所の評価(全卒業生)

三重大学卒業生に対する事業所の回答(297件)について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。その結果、平均値では、12項目すべてにおいて「少し身につけている」に該当する3.00以上となり、総じて4つの力が身につけていると認識されていることが分かった。平均値が最も高かった項目は、「1『感じる力』の感性」で3.99、次いで「2『感じる力』の共感」3.98、「12『生きる力』の社会人としての態度・倫理観」3.90、の順に高かった。一方、最も評価が低かった項目は「9「コミュニケーション力」の実践外国語力」で、平均値は3.20、標準偏差は1.08であった。ほかの項目に比べて平均値は低いものの、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」が身につけていると卒業生とそうではない卒業生との間のばらつきが大きいことを示している。またこの項目に対して「評価できない」という回答が297件中85件あったことも考慮する必要がある。回答のあった事業所のうち、「9「コミュニケーション力」の実践外国語力」が実際に必要とされる事業所が限られている可能性が示唆される。

表 2-1 全卒業生(297件)に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価できない (297件中)
1「感じる力」の感性	3.99	0.95	5
2「感じる力」の共感	3.98	1.00	5
3「感じる力」の主体性	3.78	1.07	5
4「考える力」の幅広い教養	3.79	0.97	6
5「考える力」の専門知識・技術	3.73	0.97	26
6「考える力」の理論的・批判的思考力	3.78	0.98	9
7「コミュニケーション力」の表現力(発表・討論・対話)	3.76	1.03	6
8「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.47	1.02	10
9「コミュニケーション力」の実践外国語力	3.20	1.08	85
10「生きる力」の問題発見・解決力	3.70	1.03	9
11「生きる力」の心身の健康に対する意識	3.84	1.00	9
12「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	3.90	1.09	5

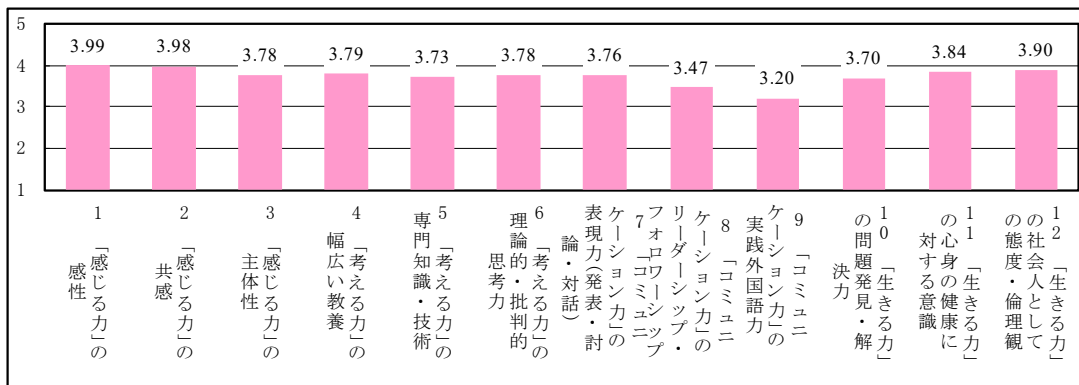


図 2-1 全卒業生（297 件）に対する事業所の評価の平均値

### 2.1.2 事業所の評価（人文学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、人文学部卒業生に対する事業所の回答（83件）について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。その結果、平均値では、12項目すべてにおいて「少し身につけている」に該当する3.00以上となり、総じて4つの力が身につけていると認識されていることが分かった。平均値が最も高かった項目は、「1 『感じる力』の感性」で3.95、次いで「2 『感じる力』の共感」と「12 『生きる力』の社会人としての態度・倫理観」が3.91と高かった。一方、最も評価が低かった項目は「9 『コミュニケーション力』の実践外国語力」で、平均値は3.39、標準偏差は1.10であった。ほかの項目に比べて平均値は低いものの、「9 『コミュニケーション力』の実践外国語力」が身につけていると卒業生とそうではない卒業生との間のばらつきが大きいことを示している。またこの項目に対して「評価できない」という回答が83件中26件あったことも考慮する必要がある。回答のあった事業所のうち、「9 「コミュニケーション力」の実践外国語力」が実際に必要とされる事業所が限られている可能性が示唆される。

表 2-2 人文学部の卒業生（83 件）に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価 できない (83件中)
1 「感じる力」の感性	3.95	1.07	8
2 「感じる力」の共感	3.91	1.13	4
3 「感じる力」の主体性	3.77	1.13	4
4 「考える力」の幅広い教養	3.84	1.03	4
5 「考える力」の専門知識・技術	3.58	1.04	17
6 「考える力」の理論的・批判的思考力	3.81	1.12	4
7 「コミュニケーション力」の表現力（発表・討論・対話）	3.80	1.11	3
8 「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.55	1.06	6
9 「コミュニケーション力」の実践外国語力	3.39	1.10	26
10 「生きる力」の問題発見・解決力	3.76	1.16	4
11 「生きる力」の心身の健康に対する意識	3.81	1.09	3
12 「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	3.91	1.17	3

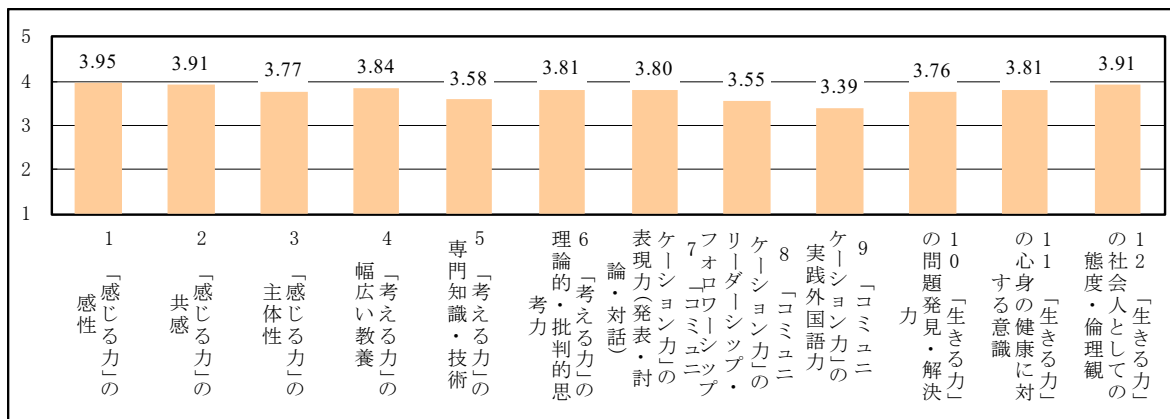


図 2-2 人文学部の卒業生（83 件）に対する事業所の評価の平均値

### 2.1.3 事業所の評価（教育学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、教育学部卒業生に対する事業所の回答（81件）について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。その結果、平均値では、12項目すべてにおいて「少し身につけている」に該当する3.00以上となり、総じて4つの力が身につけていると認識されていることが分かった。平均値が最も高かった項目は、「1『感じる力』の感性」と「2『感じる力』の共感」でともに3.96であった。一方、最も評価が低かった項目は「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」で、平均値は3.20、標準偏差は0.98であった。ほかの項目に比べて平均値は低いものの、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」が身につけていると卒業生とそうではない卒業生との間のばらつきが大きいことを示している。またこの項目に対して「評価できない」という回答が81件中22件あったことも考慮する必要がある。回答のあった事業所のうち、「9「コミュニケーション力」の実践外国語力」が実際に必要とされる事業所が限られている可能性が示唆される。

表 2-3 教育学部の卒業生（81件）に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価できない (81件中)
1「感じる力」の感性	3.96	0.95	1
2「感じる力」の共感	3.96	0.97	1
3「感じる力」の主体性	3.81	1.02	1
4「考える力」の幅広い教養	3.70	0.95	1
5「考える力」の専門知識・技術	3.71	0.89	2
6「考える力」の理論的・批判的思考力	3.76	0.81	3
7「コミュニケーション力」の表現力（発表・討論・対話）	3.75	0.95	1
8「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.43	1.00	1
9「コミュニケーション力」の実践外国語力	3.20	0.98	22
10「生きる力」の問題発見・解決力	3.66	1.01	2
11「生きる力」の心身の健康に対する意識	3.84	0.88	1
12「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	3.86	1.06	2

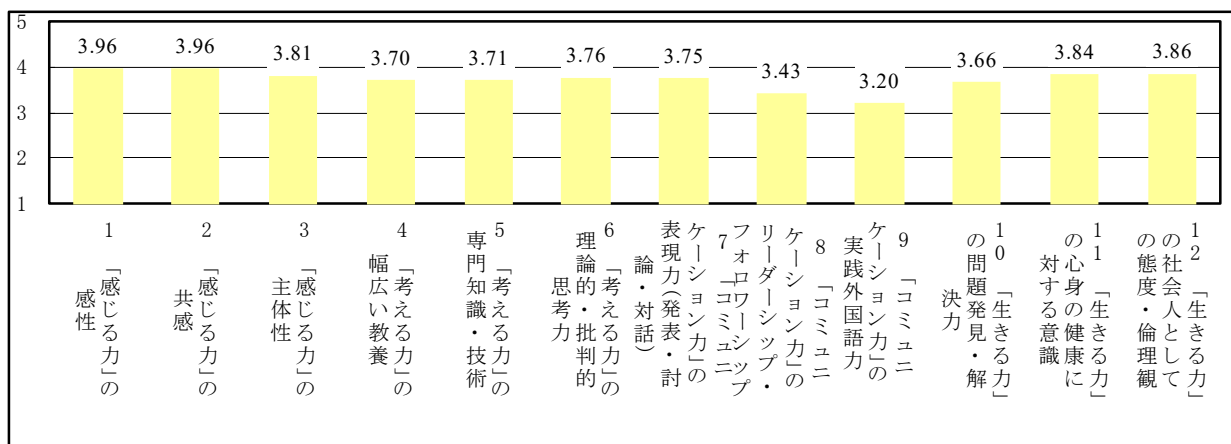


図 2-3 教育学部の卒業生（81件）に対する事業所の評価の平均値

#### 2.1.4 事業所の評価（医学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、医学部卒業生に対する事業所の回答（18件）について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。その結果、平均値では、12項目すべてにおいて「少し身につけている」に該当する3.00以上の値となり、総じて4つの力が身につけていると認識されていることが分かった。平均値が最も高かった項目は、「2『感じる力』の共感」で3.89、次いで「1『感じる力』の感性」が3.83であった。一方、最も評価が低かった項目は「8『コミュニケーション力』のリーダーシップ・フォロワーシップ」で、平均値は3.06、標準偏差は0.80であった。また、次に評価が低かった項目は、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」で、平均値は3.08、標準偏差は0.76であった。また、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」に関しては、「評価できない」という回答が、18件中5件あった。

表 2-4 医学部の卒業生（18件）に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価できない (18件中)
1「感じる力」の感性	3.83	0.79	0
2「感じる力」の共感	3.89	0.83	0
3「感じる力」の主体性	3.44	0.98	0
4「考える力」の幅広い教養	3.61	0.98	0
5「考える力」の専門知識・技術	3.50	0.86	0
6「考える力」の理論的・批判的思考力	3.33	0.97	0
7「コミュニケーション力」の表現力（発表・討論・対話）	3.44	0.98	0
8「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.06	0.80	0
9「コミュニケーション力」の実践外国語力	3.08	0.76	5
10「生きる力」の問題発見・解決力	3.28	0.89	0
11「生きる力」の心身の健康に対する意識	3.56	0.81	2
12「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	3.50	0.99	0

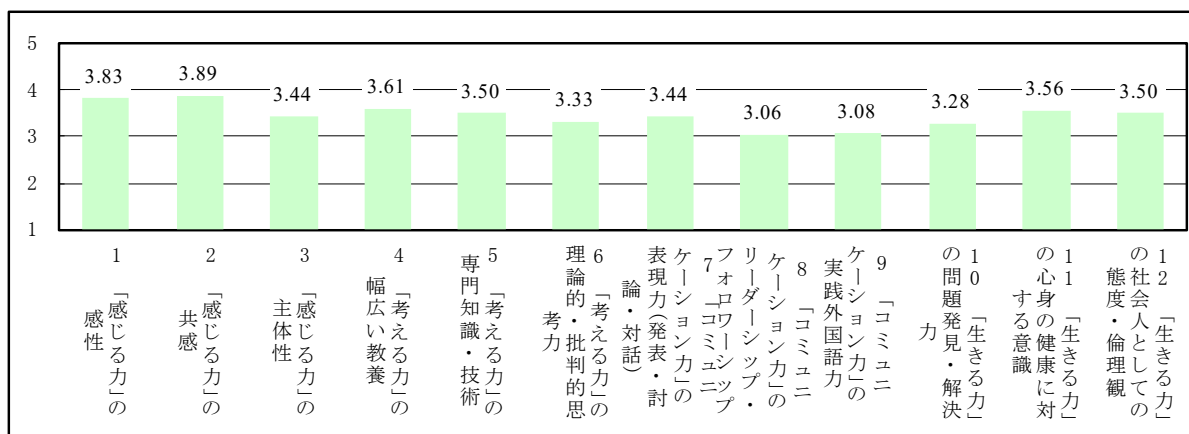


図 2-4 医学部の卒業生（18件）に対する事業所の評価の平均値

### 2.1.5 事業所の評価（工学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、工学部卒業生に対する事業所の回答（56件）について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。その結果、平均値では、12項目すべてにおいて「少し身につけている」に該当する3.00以上となり、総じて4つの力が身につけていると認識されていることが分かった。平均値が最も高かった項目は、「1『感じる力』の感性」で3.98、次いで「2『感じる力』の共感」と「5「考える力」の専門知識・技術」がともに3.95であった。一方、最も評価が低かった項目は、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」で、平均値は3.07、標準偏差は1.18であった。ほかの項目に比べて平均値は低いものの、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」が身につけていると卒業生とそうではない卒業生との間のばらつきが大きいことを示している。またこの項目に対して「評価できない」という回答が56件中11件あったことも考慮する必要がある。

表 2-5 工学部の卒業生（56件）に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価できない (56件中)
1「感じる力」の感性	3.98	0.86	0
2「感じる力」の共感	3.95	0.94	0
3「感じる力」の主体性	3.73	1.04	0
4「考える力」の幅広い教養	3.86	0.92	0
5「考える力」の専門知識・技術	3.95	0.93	1
6「考える力」の理論的・批判的思考力	3.84	0.95	0
7「コミュニケーション力」の表現力（発表・討論・対話）	3.71	1.07	0
8「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.45	1.05	1
9「コミュニケーション力」の実践外国語力	3.07	1.18	11
10「生きる力」の問題発見・解決力	3.73	0.96	0
11「生きる力」の心身の健康に対する意識	3.79	1.07	0
12「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	3.84	1.12	0

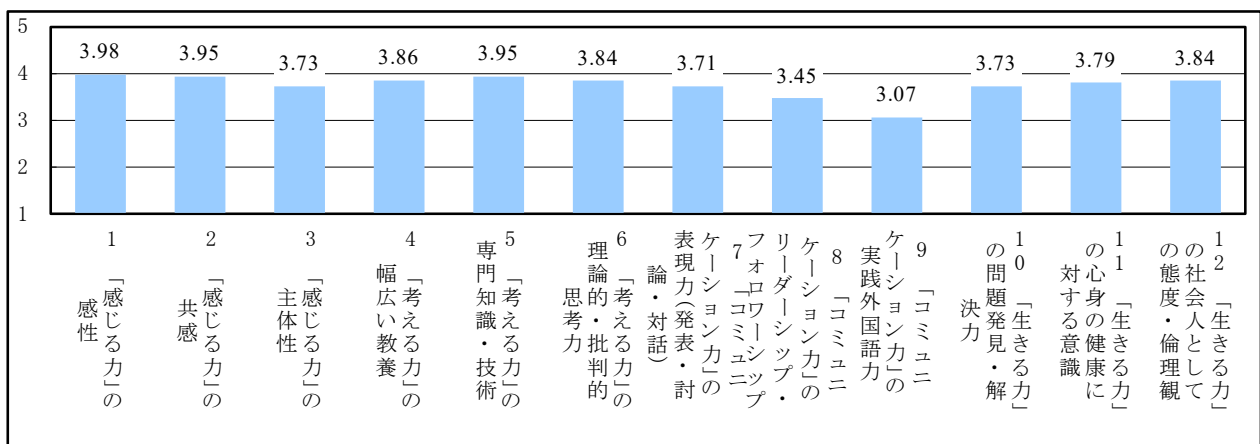


図 2-5 工学部の卒業生（56件）に対する事業所の評価の平均値

### 2.1.6 事業所の評価（生物資源学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、生物資源学部卒業生に対する事業所の回答（52件）について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。その結果、平均値では、12項目中「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」を除くすべての項目で「少し身についている」に該当する3.00以上となり、総じて4つの力が身についていると認識されていることが分かった。さらに、「ある程度身についている」に該当する4.00以上となった項目が、全12項目中4項目あった。それらの項目は、高い順に「1『感じる力』の感性」、「2『感じる力』の共感」（ともに4.17）、「12『生きる力』の社会人としての態度・倫理観」（4.13）、「11『生きる力』の心身の健康に対する意識」（4.02）であった。一方、最も評価が低かった項目は「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」で、平均値は2.97、標準偏差は1.15であった。ほかの項目に比べて平均値は低いものの、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」が身についていると卒業生とそうではない卒業生との間のばらつきが大きいことを示している。またこの項目に対して「評価できない」という回答が52件中20件あったことも考慮する必要がある。

表 2-6 生物資源学部の卒業生（52件）に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価できない (52件中)
1「感じる力」の感性	4.17	0.92	0
2「感じる力」の共感	4.17	0.92	0
3「感じる力」の主体性	3.88	1.13	0
4「考える力」の幅広い教養	3.80	0.98	1
5「考える力」の専門知識・技術	3.80	1.05	6
6「考える力」の理論的・批判的思考力	3.86	0.99	2
7「コミュニケーション力」の表現力（発表・討論・対話）	3.88	1.00	2
8「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.56	1.03	2
9「コミュニケーション力」の実践外国語力	2.97	1.15	20
10「生きる力」の問題発見・解決力	3.80	0.98	3
11「生きる力」の心身の健康に対する意識	4.02	1.01	3
12「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	4.13	1.03	0

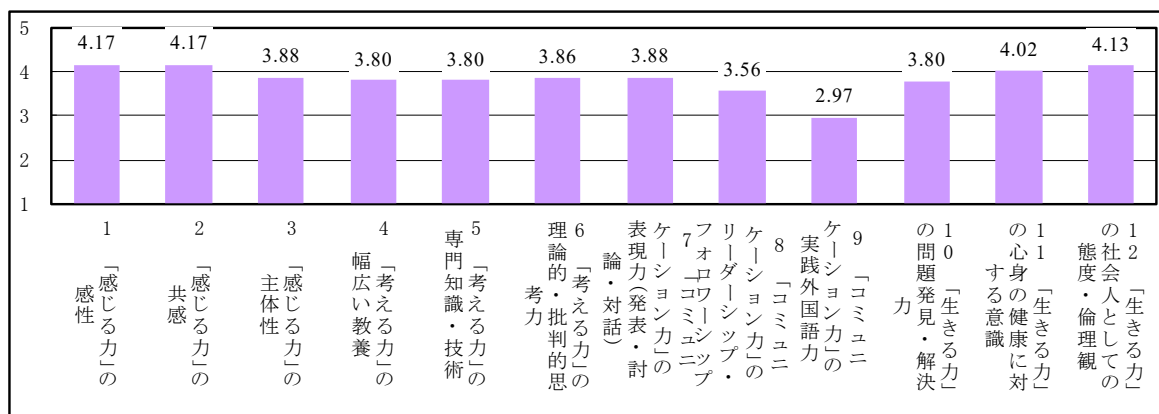


図 2-6 生物資源学部の卒業生（52件）に対する事業所の評価の平均値

## 2.2 修了生に対する事業所の評価

修了生が従事する各事業所に、各修了生に4つの力がどの程度身についているかを、「身についていない」から「十分身についている」の5段階で回答を求めた（12項目。第I部 卒業生と修了生「第3章 三重大学の教育・研究で身についたこと」の項目と共通）。5段階の他に「評価できない」という選択肢を設けた。平均値と標準偏差は「十分身についている」を5点、「ある程度身についている」を4点、「少し身についている」を3点、「わずかだが身についている」を2点、「身についていない」を1点として加点して算出した。以下、修了生に対する事業所の回答（120件）について、平均値と標準偏差、「評価できない」と回答した件数を算出した。

その結果、平均値では、12項目すべてにおいて「少し身についている」に該当する3.00以上の値となり、総じて4つの力が身についていると認識されていることが分かった。さらに、「ある程度身についている」に該当する4.00以上となった項目が、全12項目中5項目あった。それらの項目は、高い順に「2「感じる力」の共感」（4.08）、「1『感じる力』の感性」（4.06）、「12『生きる力』の社会人としての態度・倫理観」（4.04）、「5「考える力」の専門知識・技術」と「6「考える力」の理論的・批判的思考力」（ともに4.02）であった。

一方、最も評価が低かった項目は「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」で、平均値は3.39、標準偏差は1.11であった。ほかの項目に比べて平均値は低いものの、「9『コミュニケーション力』の実践外国語力」が身についていると修了生とそうではない修了生との間のばらつきが大きいことを示している。またこの項目に対して「評価できない」という回答が120件中28件あったことも考慮する必要がある。

表 2-7 全修了生（120件）に対する事業所の評価

項目	平均値	標準偏差	評価できない (120件中)
1「感じる力」の感性	4.06	0.93	6
2「感じる力」の共感	4.08	0.88	4
3「感じる力」の主体性	3.96	1.07	5
4「考える力」の幅広い教養	3.96	0.92	4
5「考える力」の専門知識・技術	4.02	0.98	7
6「考える力」の理論的・批判的思考力	4.02	0.96	6
7「コミュニケーション力」の表現力（発表・討論・対話）	3.86	1.03	4
8「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ	3.73	1.07	6
9「コミュニケーション力」の実践外国語力	3.39	1.11	28
10「生きる力」の問題発見・解決力	3.87	1.01	7
11「生きる力」の心身の健康に対する意識	3.96	1.03	5
12「生きる力」の社会人としての態度・倫理観	4.04	1.04	6

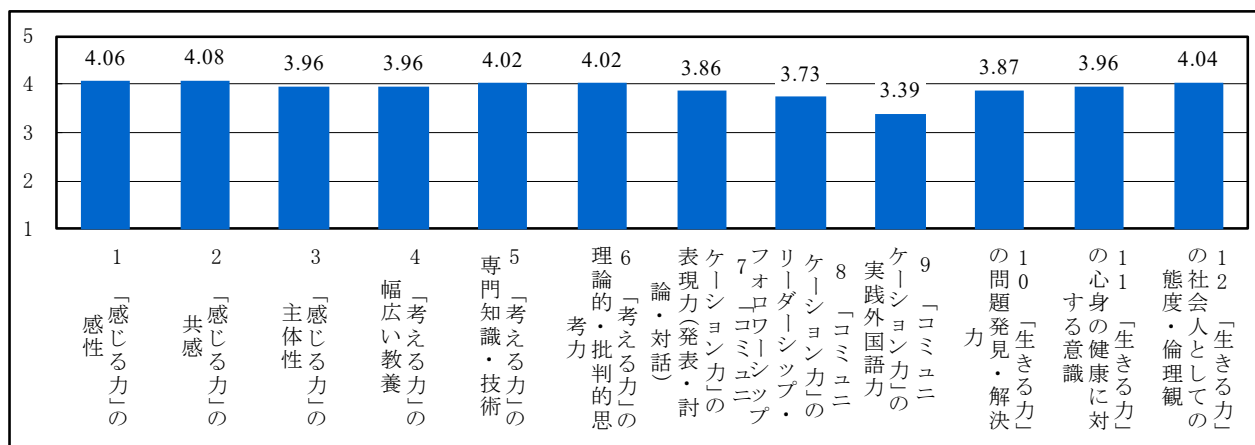


図 2-7 全修了生（120 件）に対する事業所の評価の平均値

### 3. 事業所において重要だと思われる力

#### 3.1 事業所において重要だと思われる力（卒業生）

各事業所において重要だと思われる力をたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。全卒業生及び卒業学部別に各項目を選択した人数とその割合を算出した。

##### 3.1.1 事業所において重要だと思われる力（全卒業生）

三重大学卒業生が従事する事業所の回答（297件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「3 主体性」、「12 社会人としての態度・倫理観」、「10 問題発見・解決力」、「7 表現力（発表・討論・対話）」、「2 共感」、「6 理論的・批判的思考力」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は11.1%で、次に選択率が低かった「4 幅広い教養」とは25.6%の差があった。

表 3-1 全事業所（297件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	148	49.8%
2 共感	177	59.6%
3 主体性	254	85.5%
4 幅広い教養	109	36.7%
5 専門知識・技術	138	46.5%
6 理論的・批判的思考力	170	57.2%
7 表現力(発表・討論・対話)	177	59.6%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	160	53.9%
9 実践外国語力	33	11.1%
10 問題発見・解決力	224	75.4%
11 心身の健康に対する意識	130	43.8%
12 社会人としての態度・倫理観	224	75.4%

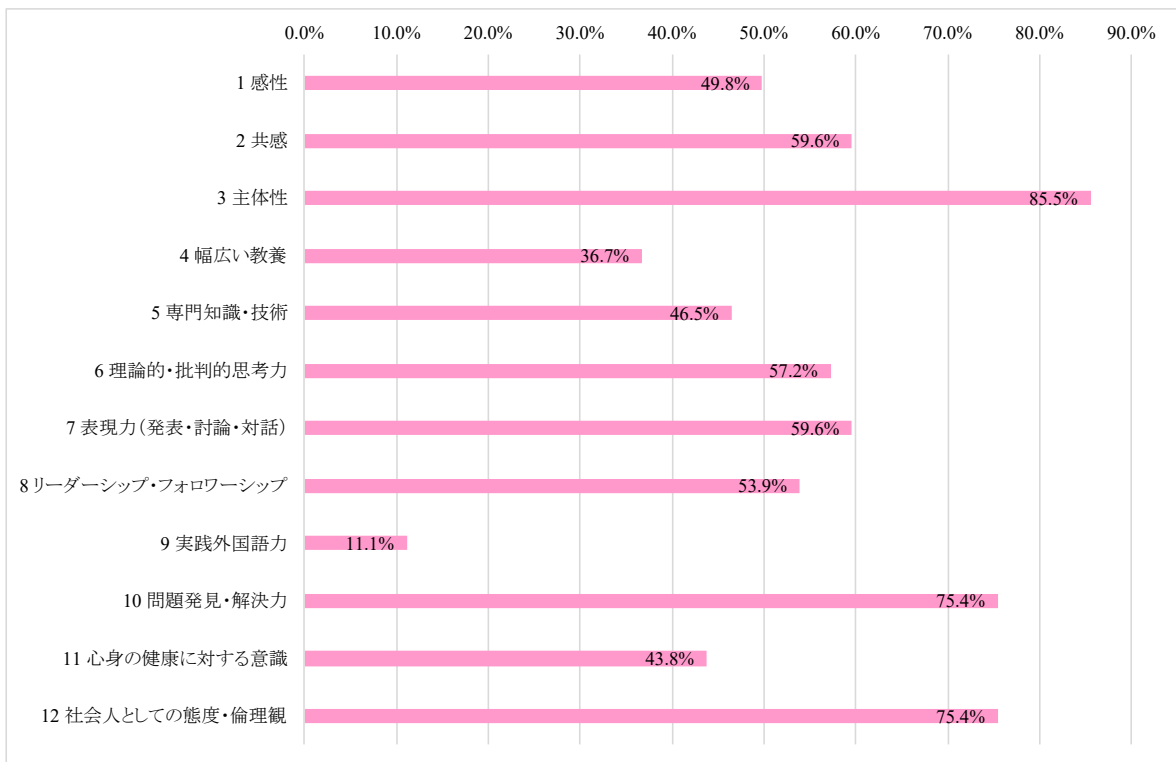


図 3-1 全事業所 (297 件) において重要だと思われる力の選択率

### 3.1.2 事業所において重要だと思われる力（人文学部卒業生）

人文学部卒業生が従事する事業所の回答（83件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、多い順に「3 主体性」、「10 問題発見・解決力」、「12 社会人としての態度・倫理観」、「7 表現力（発表・討論・対話）」、「2 共感」、「6 理論的・批判的思考力」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は13.3%で、次に選択率が低かった「5 専門知識・技術」とは13.3%の差があった。

表 3-2 人文学部卒業生が従事する事業所（83件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	36	43.4%
2 共感	51	61.4%
3 主体性	73	88.0%
4 幅広い教養	24	28.9%
5 専門知識・技術	22	26.5%
6 理論的・批判的思考力	50	60.2%
7 表現力（発表・討論・対話）	55	66.3%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	41	49.4%
9 実践外国語力	11	13.3%
10 問題発見・解決力	63	75.9%
11 心身の健康に対する意識	27	32.5%
12 社会人としての態度・倫理観	62	74.7%

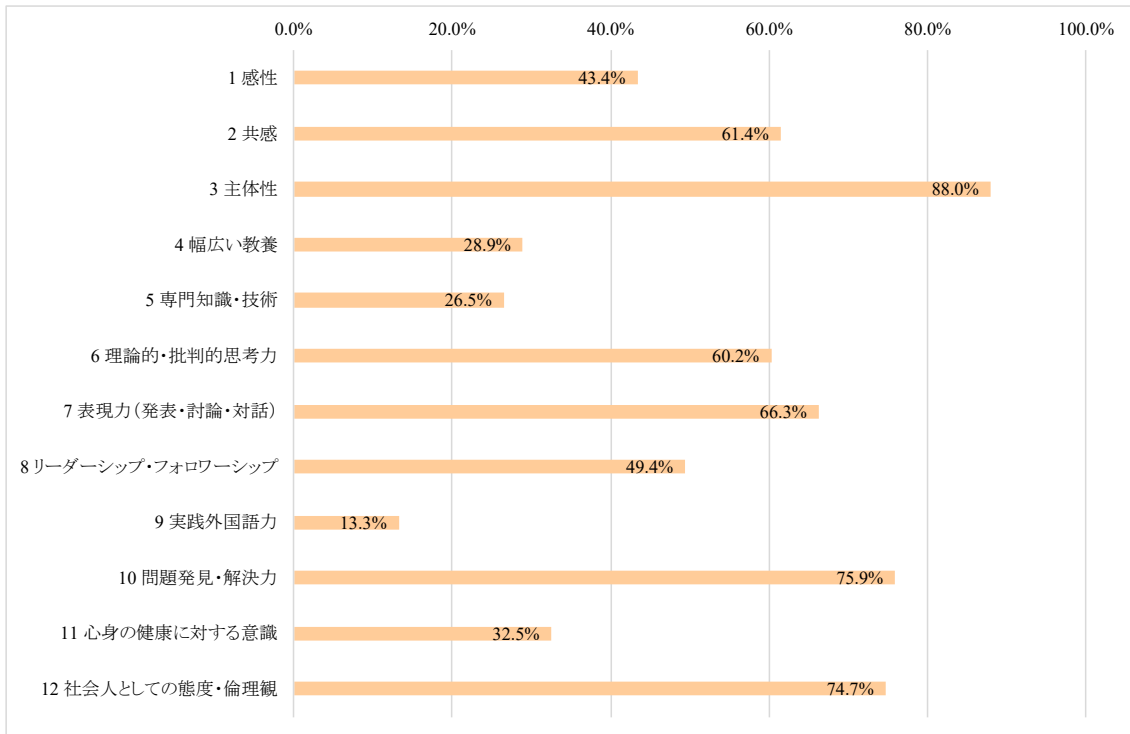


図 3-2 人文学部卒業生が従事する事業所（83 件）において重要だと思われる力の選択率

### 3.1.3 事業所において重要だと思われる力（教育学部卒業生）

教育学部卒業生が従事する事業所の回答（81件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「3 主体性」、「10 問題発見・解決力」、「12 社会人としての態度・倫理観」、「1 感性」、「2 共感」、「5 専門知識・技術」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は13.6%で、次に選択率が低かった「11 心身の健康に対する意識」とは39.5%の差があった。

表 3-3 教育学部卒業生が従事する事業所（81件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	61	75.3%
2 共感	60	74.1%
3 主体性	74	91.4%
4 幅広い教養	45	55.6%
5 専門知識・技術	53	65.4%
6 理論的・批判的思考力	48	59.3%
7 表現力(発表・討論・対話)	51	63.0%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	49	60.5%
9 実践外国語力	11	13.6%
10 問題発見・解決力	63	77.8%
11 心身の健康に対する意識	43	53.1%
12 社会人としての態度・倫理観	62	76.5%

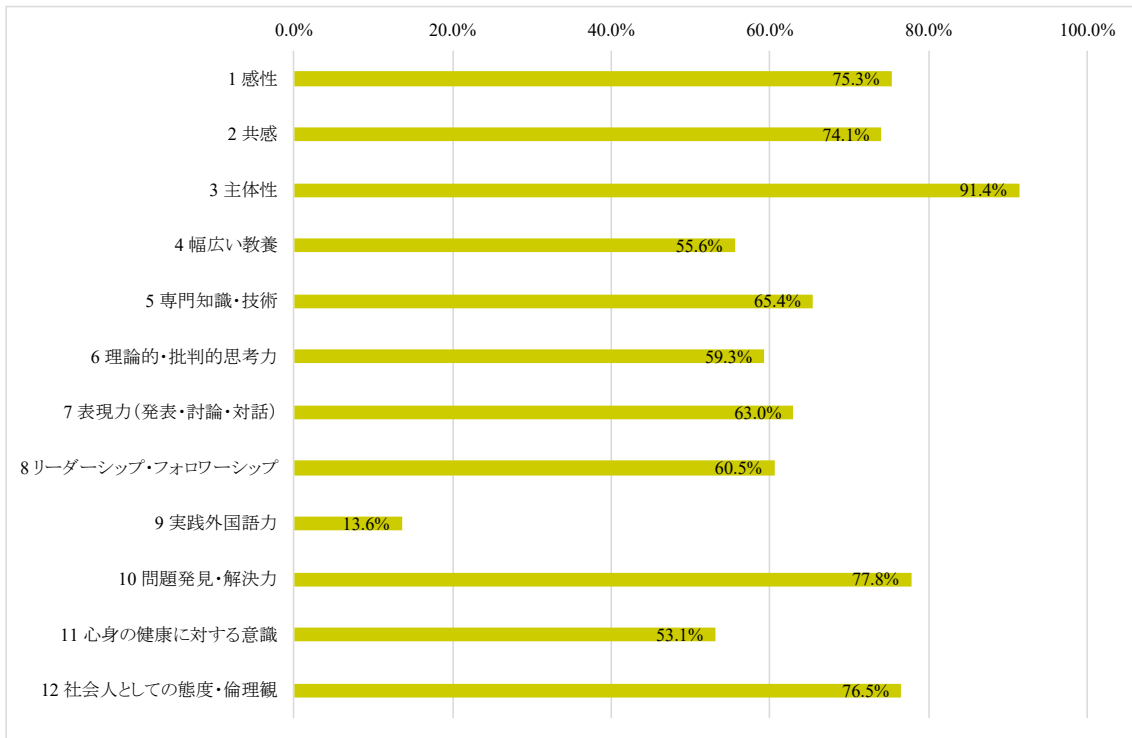


図 3-3 教育学部卒業生が従事する事業所（81 件）において重要だと思われる力の選択率

### 3.1.4 事業所において重要だと思われる力（医学部卒業生）

医学部卒業生が従事する事業所の回答（18件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「12 社会人としての態度・倫理観」、「3 主体性」、「10 問題発見・解決力」、「8 リーダーシップ・フォロワーシップ」、「2 共感」、「1 感性」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は5.6%で、次に選択率が低かった「4 幅広い教養」とは11.1%の差があった。

表 3-4 医学部卒業生が従事する事業所（18件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	12	66.7%
2 共感	12	66.7%
3 主体性	13	72.2%
4 幅広い教養	3	16.7%
5 専門知識・技術	8	44.4%
6 理論的・批判的思考力	5	27.8%
7 表現力(発表・討論・対話)	11	61.1%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	12	66.7%
9 実践外国語力	1	5.6%
10 問題発見・解決力	12	66.7%
11 心身の健康に対する意識	11	61.1%
12 社会人としての態度・倫理観	14	77.8%

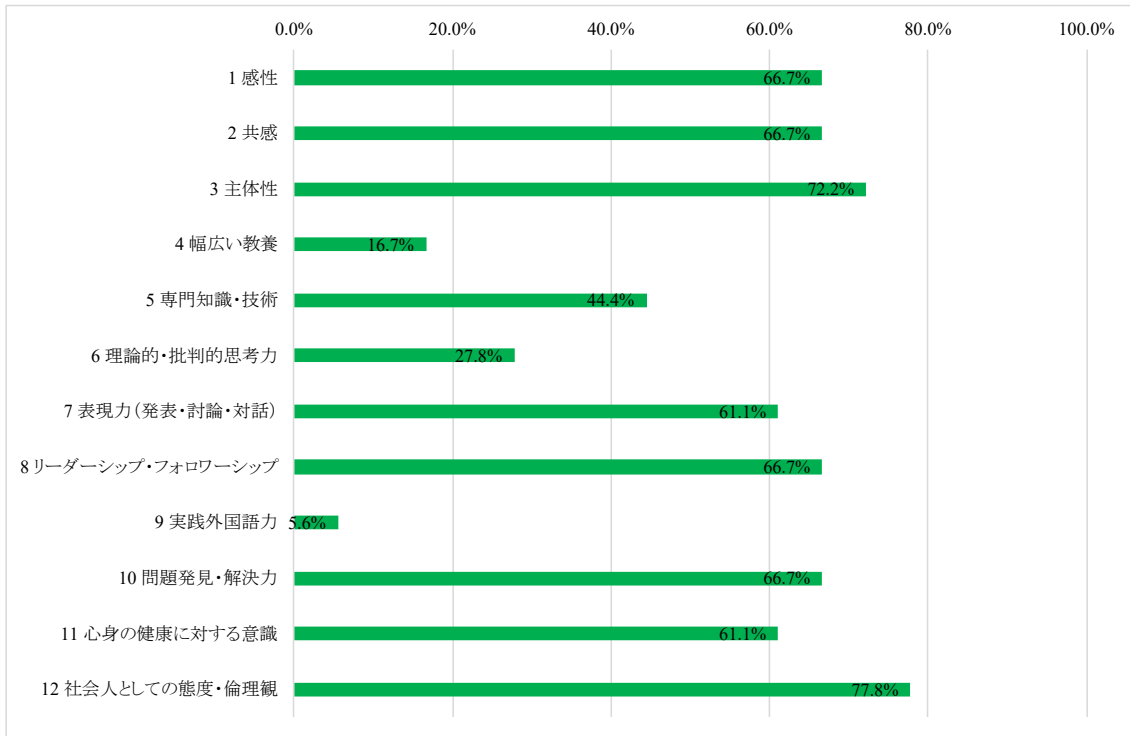


図 3-4 医学部卒業生が従事する事業所（18 件）において重要だと思われる力の選択率

### 3.1.5 事業所において重要だと思われる力（工学部卒業生）

工学部卒業生が従事する事業所の回答（56件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「3 主体性」、「12 社会人としての態度・倫理観」、「10 問題発見・解決力」、「6 理論的・批判的思考力」、「5 専門知識・技術」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は10.7%で、次に選択率が低かった「4 幅広い教養」とは17.9%の差があった。

表 3-5 工学部卒業生が従事する事業所（56件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	18	32.1%
2 共感	23	41.1%
3 主体性	43	76.8%
4 幅広い教養	16	28.6%
5 専門知識・技術	34	60.7%
6 理論的・批判的思考力	35	62.5%
7 表現力(発表・討論・対話)	29	51.8%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	25	44.6%
9 実践外国語力	6	10.7%
10 問題発見・解決力	39	69.6%
11 心身の健康に対する意識	20	35.7%
12 社会人としての態度・倫理観	40	71.4%

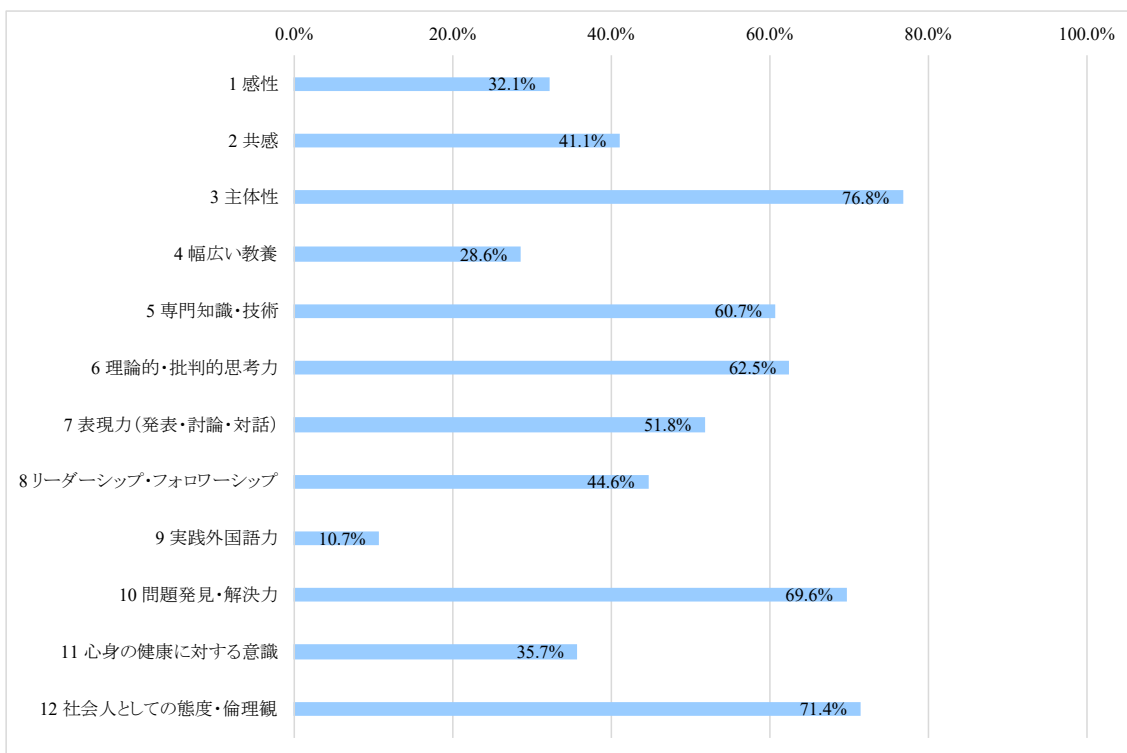


図 3-5 工学部卒業生が従事する事業所（56 件）において重要だと思われる力の選択率

### 3.1.6 事業所において重要だと思われる力（生物資源学部卒業生）

生物資源学部卒業生が従事する事業所の回答（52件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「3 主体性」、「10 問題発見・解決力」、「12 社会人としての態度・倫理観」、「8 リーダーシップ・フォロワーシップ」、「7 表現力（発表・討論・対話）」、「6 理論的・批判的思考力」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は7.7%で、次に選択率が低かった「1 感性」とは23.1%の差があった。

表 3-6 生物資源学部卒業生が従事する事業所（52件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	16	30.8%
2 共感	26	50.0%
3 主体性	45	86.5%
4 幅広い教養	17	32.7%
5 専門知識・技術	18	34.6%
6 理論的・批判的思考力	28	53.8%
7 表現力（発表・討論・対話）	28	53.8%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	29	55.8%
9 実践外国語力	4	7.7%
10 問題発見・解決力	41	78.8%
11 心身の健康に対する意識	27	51.9%
12 社会人としての態度・倫理観	39	75.0%

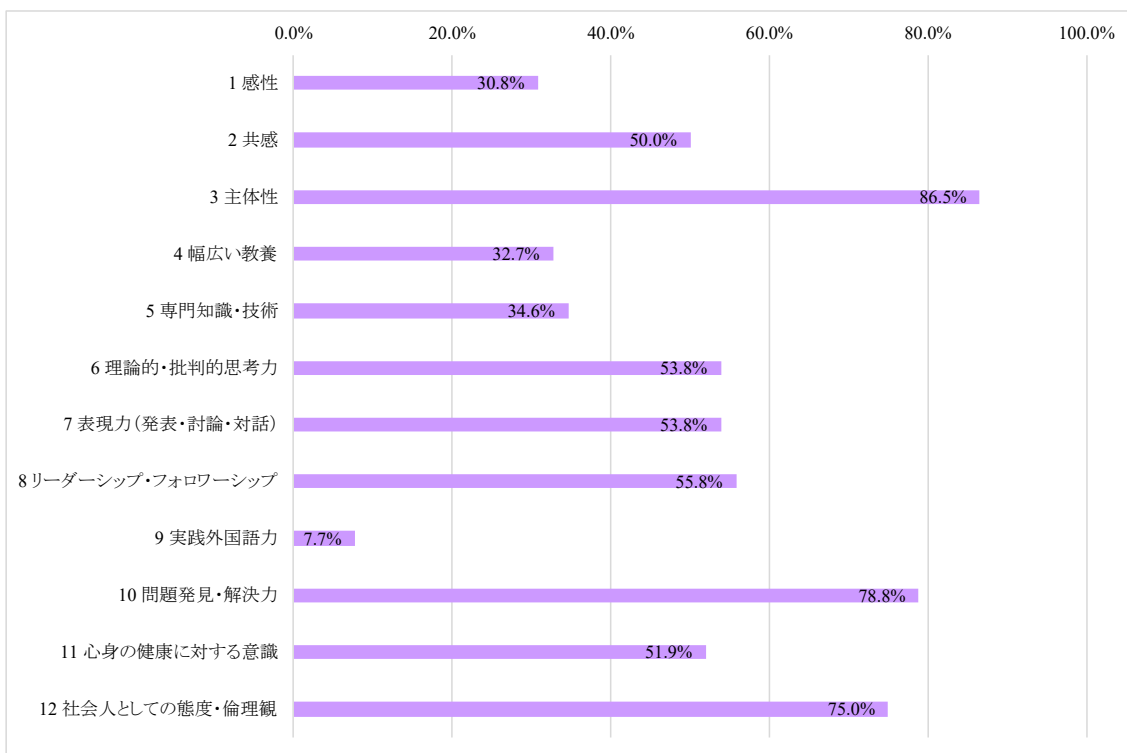


図 3-6 生物資源学部卒業生が従事する事業所（52 件）において重要だと思われる力の選択率

### 3.2 事業所において重要だと思われる力（修了生）

各事業所において重要だと思われる力をたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。以下、三重大学卒業生が従事する事業所の回答（120件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「3 主体性」、「10 問題発見・解決力」、「6 理論的・批判的思考力」、「12 社会人としての態度・倫理観」、「5 専門知識・技術」であった。一方、選択率が最も低かった項目は「9 実践外国語力」であった。同選択肢の選択率は13.3%で、次に選択率が低かった「1 感性」とは18.3%の差があった。

表 3-7 全修了生が従事する事業所（120件）において重要だと思われる力

項目	人数	%
1 感性	38	31.7%
2 共感	47	39.2%
3 主体性	98	81.7%
4 幅広い教養	44	36.7%
5 専門知識・技術	74	61.7%
6 理論的・批判的思考力	82	68.3%
7 表現力(発表・討論・対話)	60	50.0%
8 リーダーシップ・フォロワーシップ	64	53.3%
9 実践外国語力	16	13.3%
10 問題発見・解決力	93	77.5%
11 心身の健康に対する意識	54	45.0%
12 社会人としての態度・倫理観	75	62.5%

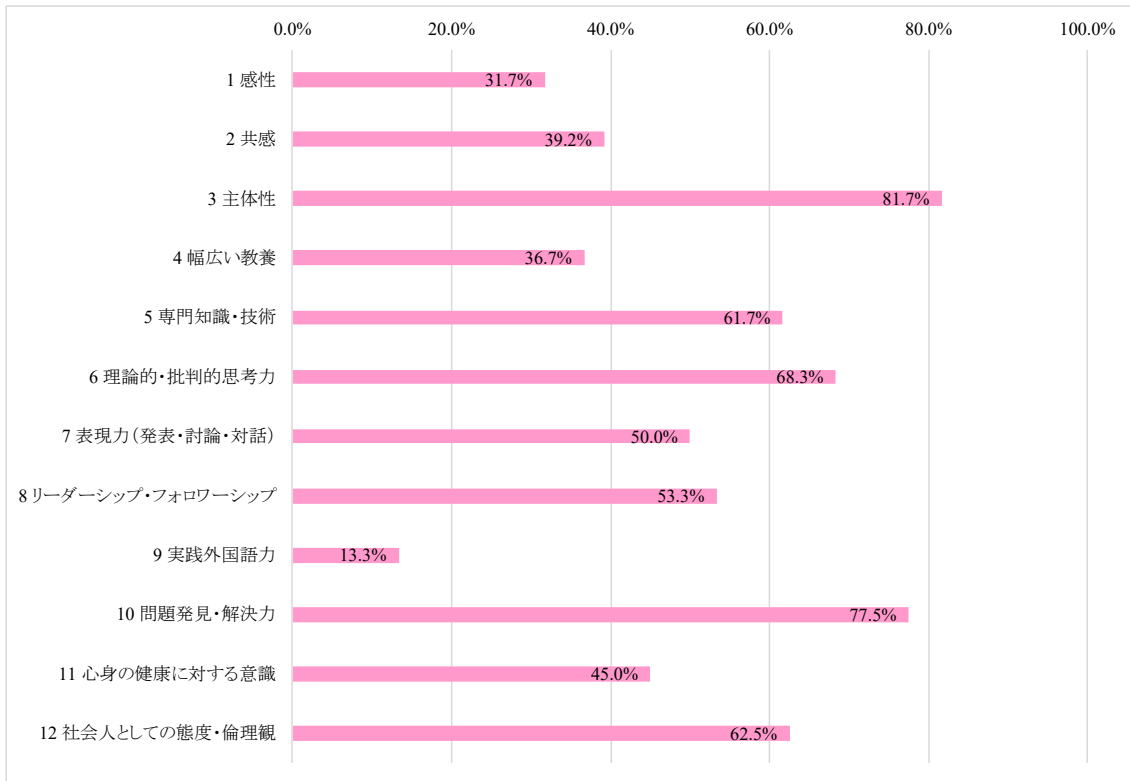


図 3-7 全修了生が従事する事業所（120 件）において重要だと思われる力の選択率

## 4. 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力

### 4.1 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（卒業生）

三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力をたずねた。回答は、12 個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。全卒業生及び卒業学部別に各項目を選択した人数とその割合を算出した。

#### 4.1.1 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（全卒業生）

三重大大学卒業生が従事する事業所の回答（297 件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「4 人と共同して仕事をする力」、「1 広い視野で多面的に考える力」、「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「11 自立的に自らが決断する力」などであった。後述するように、これら 5 つの項目のうち「11 自立的に自らが決断する力」を除く 4 つの項目は、すべての卒業学部において上位 5 つの項目に含まれた。一方、選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は 10.1%で、次に選択率が低かった「5 文章作成や文章表現の力」とは 22.6%の差があった。

表 4-1 全事業所（297 件）における三重大学の教育において  
養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	226	76.1%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	144	48.5%
3 外国語でコミュニケーションをする力	30	10.1%
4 人と共同して仕事をする力	242	81.5%
5 文章作成や文章表現の力	97	32.7%
6 情報を収集して適切に処理する力	163	54.9%
7 一般常識	144	48.5%
8 基礎学力	101	34.0%
9 専門知識や技術	110	37.0%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	214	72.1%
11 自立的に自らが決断する力	195	65.7%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	216	72.7%

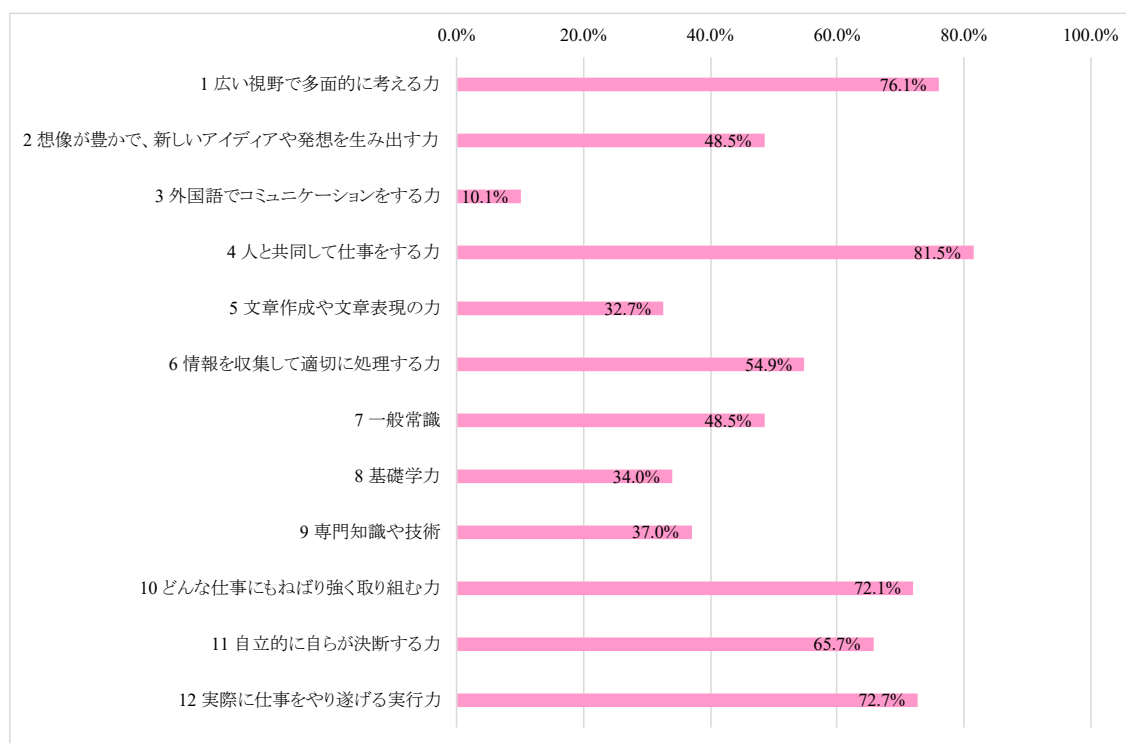


図 4-1 全事業所（297 件）における三重大学の教育において  
養成することが望ましいと思われる力の選択率

#### 4.1.2 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（人文学部卒業生）

人文学部卒業生が従事する事業所の回答（83件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「1 広い視野で多面的に考える力」、「4 人と共同して仕事をする力」、「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「11 自立的に自らが決断する力」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は15.7%で、次に選択率が低かった「9 専門知識や技術」との差は3.6%であった。

表 4-2 人文学部卒業生が従事する事業所（83件）における  
三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	70	84.3%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	45	54.2%
3 外国語でコミュニケーションをする力	13	15.7%
4 人と共同して仕事をする力	65	78.3%
5 文章作成や文章表現の力	29	34.9%
6 情報を収集して適切に処理する力	47	56.6%
7 一般常識	43	51.8%
8 基礎学力	29	34.9%
9 専門知識や技術	16	19.3%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	58	69.9%
11 自立的に自らが決断する力	55	66.3%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	60	72.3%

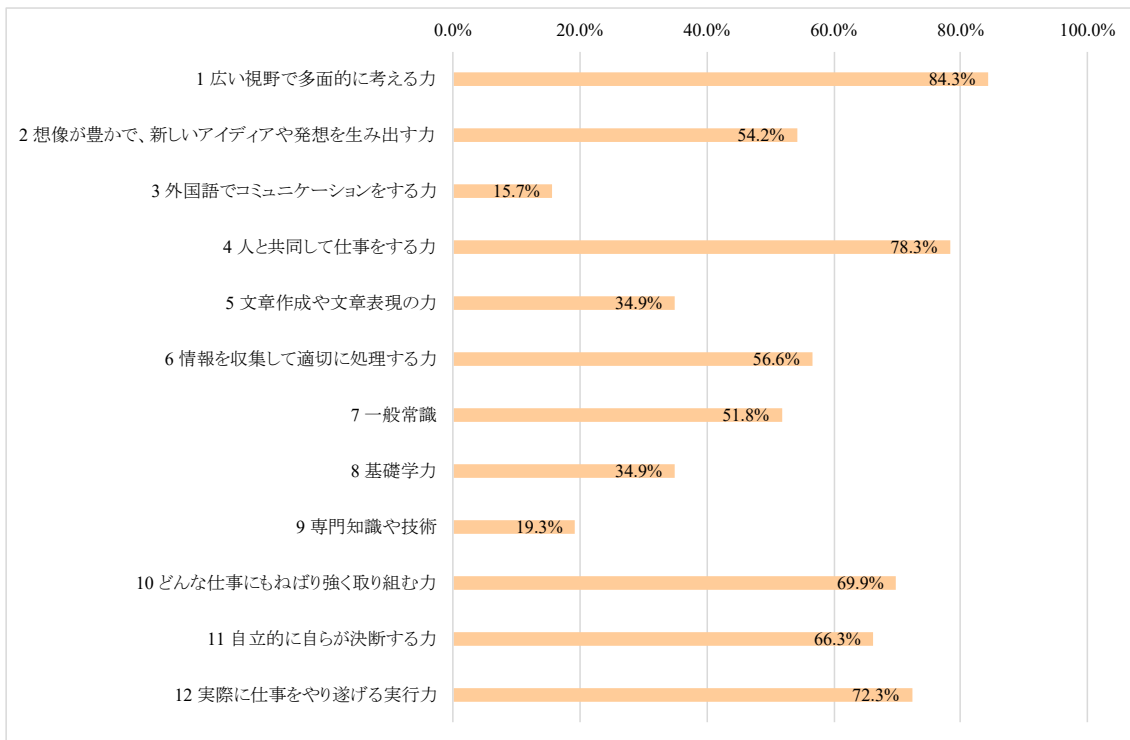


図 4-2 人文学部卒業生が従事する事業所（83 件）における  
三重大学の教育において養成することが望ましいと思われる力の選択率

#### 4.1.3 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（教育学部卒業生）

教育学部卒業生が従事する事業所の回答（81件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「4人と共同して仕事をする力」、「1 広い視野で多面的に考える力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「11 自立的に自らが決断する力」、「6 情報を収集して適切に処理する力」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は12.3%で、次に選択率が低かった「8 基礎学力」とは17.3%の差があった。

表 4-3 教育学部卒業生が従事する事業所（81件）における  
三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	63	77.8%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	42	51.9%
3 外国語でコミュニケーションをする力	10	12.3%
4 人と共同して仕事をする力	71	87.7%
5 文章作成や文章表現の力	34	42.0%
6 情報を収集して適切に処理する力	48	59.3%
7 一般常識	41	50.6%
8 基礎学力	24	29.6%
9 専門知識や技術	39	48.1%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	62	76.5%
11 自立的に自らが決断する力	50	61.7%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	55	67.9%

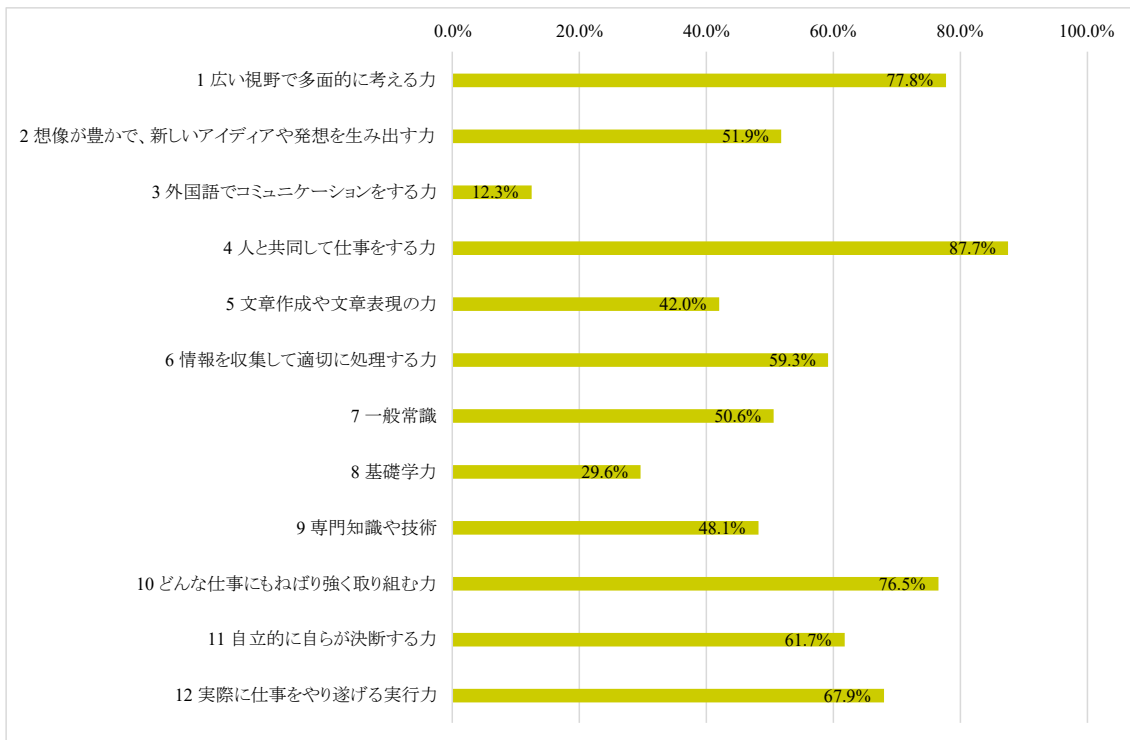


図 4-3 教育学部卒業生が従事する事業所（81 件）における  
三重大学の教育において養成することが望ましいと思われる力の選択率

#### 4.1.4 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（医学部卒業生）

医学部卒業生が従事する事業所の回答（18件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「4人と共同して仕事をする力」、「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「1 広い視野で多面的に考える力」、「6 情報を収集して適切に処理する力」などであった。一方、選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は0.0%で、次に選択率が低かった「5 文章作成や文章表現の力」とは5.6%の差があった。

表 4-4 医学部卒業生が従事する事業所（18件）における  
三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	13	72.2%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	3	16.7%
3 外国語でコミュニケーションをする力	0	0.0%
4 人と共同して仕事をする力	16	88.9%
5 文章作成や文章表現の力	1	5.6%
6 情報を収集して適切に処理する力	9	50.0%
7 一般常識	7	38.9%
8 基礎学力	6	33.3%
9 専門知識や技術	8	44.4%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	15	83.3%
11 自立的に自らが決断する力	7	38.9%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	15	83.3%

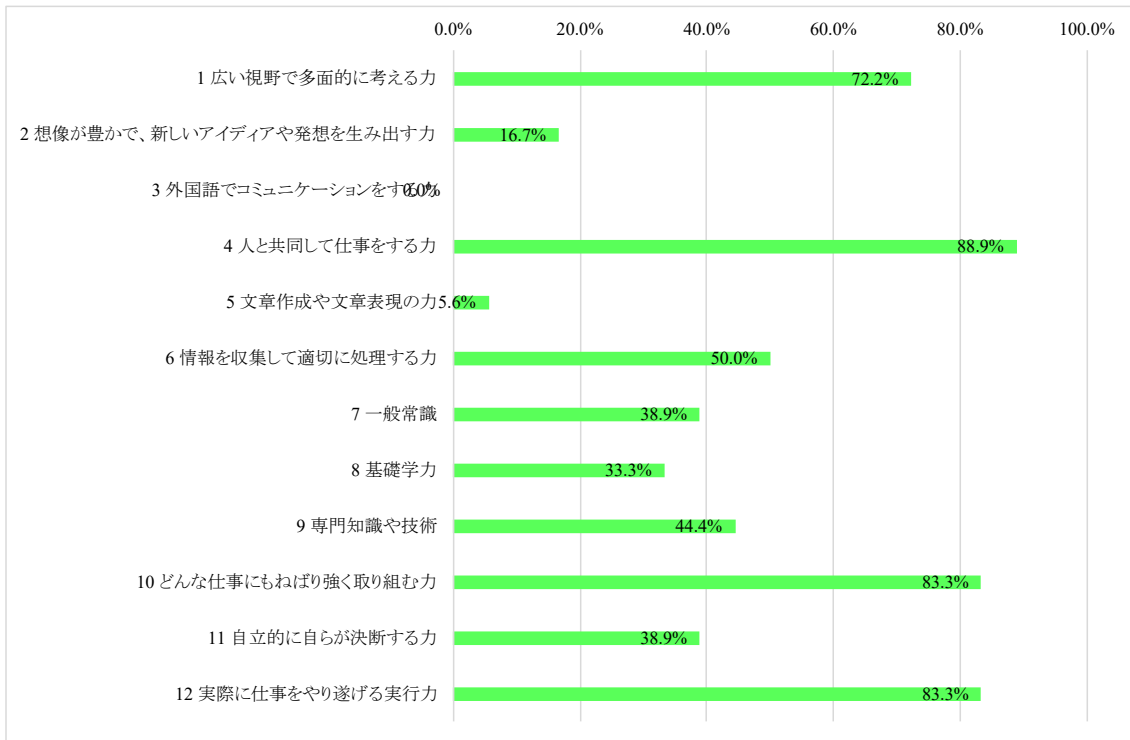


図 4-4 医学部卒業生が従事する事業所（18 件）における  
三重大学の教育において養成することが望ましいと思われる力の選択率

#### 4.1.5 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（工学部卒業生）

工学部卒業生が従事する事業所の回答（56件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「4 人と共同して仕事をする力」、「11 自立的に自らが決断する力」、「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「1 広い視野で多面的に考える力」などであった。選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は8.9%で、次に選択率が低かった「5 文章作成や文章表現の力」とは17.9%の差があった。

表 4-5 工学部卒業生が従事する事業所（56件）における  
三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	38	67.9%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	28	50.0%
3 外国語でコミュニケーションをする力	5	8.9%
4 人と共同して仕事をする力	45	80.4%
5 文章作成や文章表現の力	15	26.8%
6 情報を収集して適切に処理する力	29	51.8%
7 一般常識	25	44.6%
8 基礎学力	21	37.5%
9 専門知識や技術	27	48.2%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	39	69.6%
11 自立的に自らが決断する力	40	71.4%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	39	69.6%

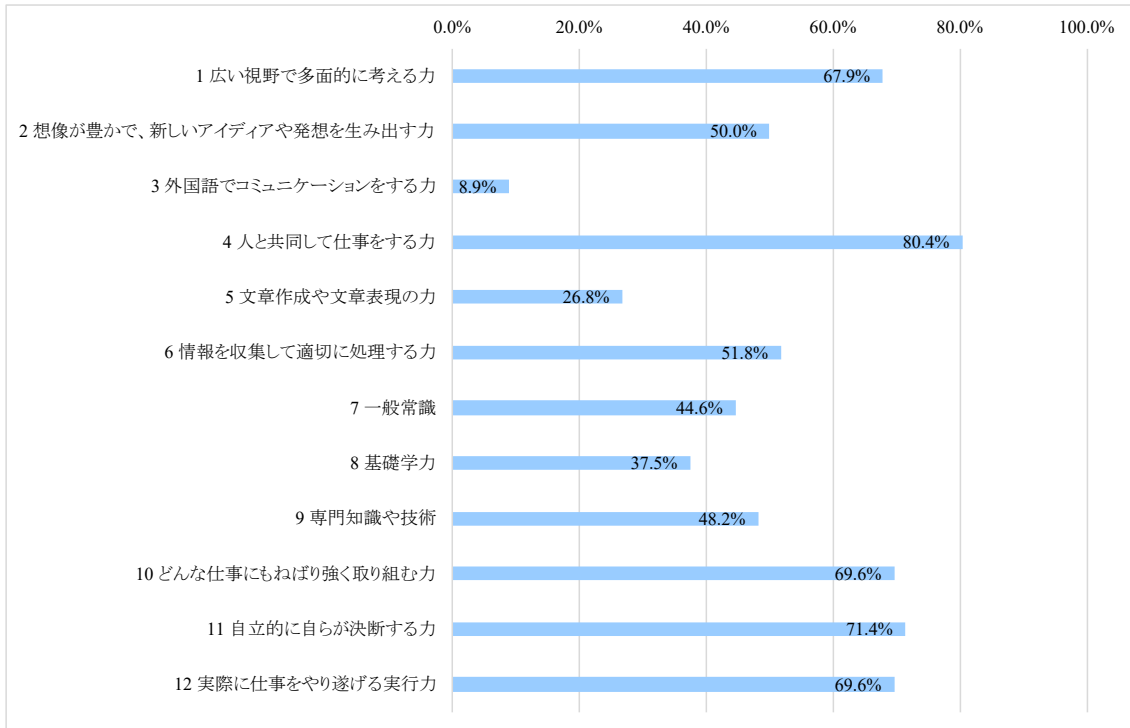


図 4-5 工学部卒業生が従事する事業所（56 件）における  
三重大学の教育において養成することが望ましいと思われる力の選択率

#### 4.1.6 三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力（生物資源学部卒業生）

生物資源学部卒業生が従事する事業所の回答（52件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「11 自立的に自らが決断する力」、「4 人と共同して仕事をする力」、「1 広い視野で多面的に考える力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」などであった。選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は3.8%で、次に選択率が低かった「5 文章作成や文章表現の力」とは26.9%の差があった。

表 4-6 生物資源学部卒業生が従事する事業所（52件）における三重大大学の教育において養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	37	71.2%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	21	40.4%
3 外国語でコミュニケーションをする力	2	3.8%
4 人と共同して仕事をする力	38	73.1%
5 文章作成や文章表現の力	16	30.8%
6 情報を収集して適切に処理する力	28	53.8%
7 一般常識	22	42.3%
8 基礎学力	18	34.6%
9 専門知識や技術	17	32.7%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	36	69.2%
11 自立的に自らが決断する力	38	73.1%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	42	80.8%

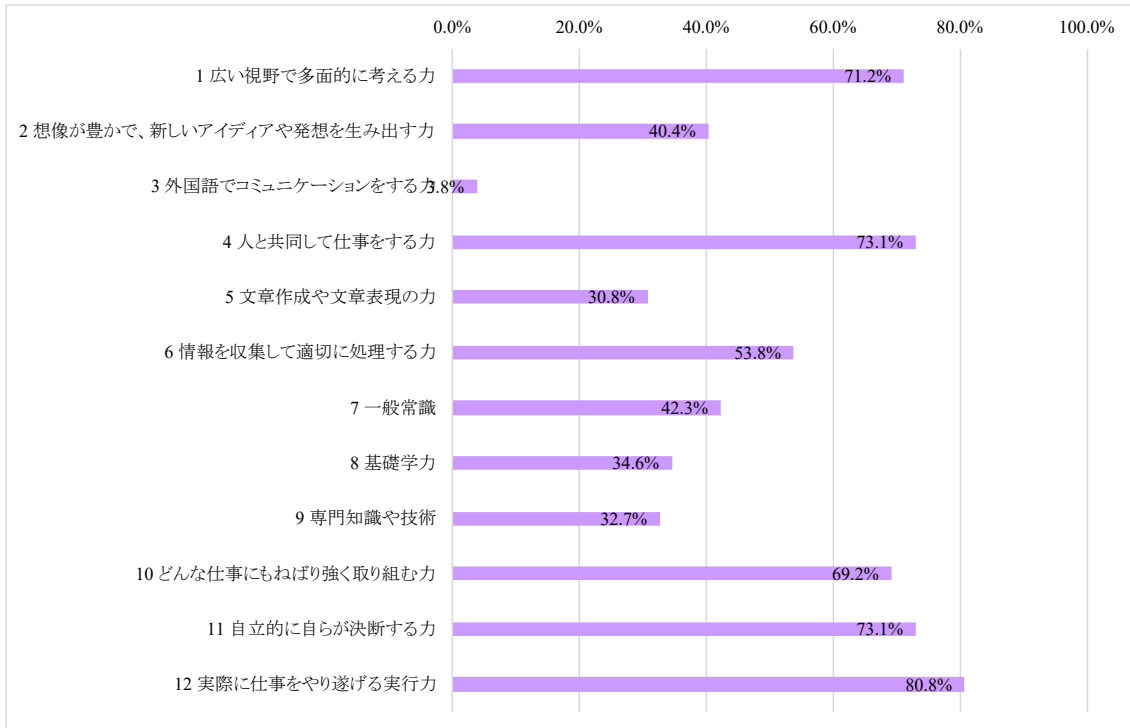


図 4-6 生物資源学部卒業生が従事する事業所（52 件）における  
三重大学の教育において養成することが望ましいと思われる力の選択率

## 4.2 三重大学大学院の教育において養成することが望ましいと

### 思われる力（全修了生）

三重大学大学院の教育において養成することが望ましいと思われる力をたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。以下、三重大学大学院の修了生が従事する事業所の回答（120件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した結果であった。選択率が高かった項目は、高い順に「4 人と共同して仕事をする力」、「1 広い視野で多面的に考える力」、「10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「12 実際に仕事をやり遂げる実行力」、「11 自立的に自らが決断する力」などであった。選択率が最も低かった項目は「3 外国語でコミュニケーションをする力」であった。同選択肢の選択率は15.8%で、次に選択率が低かった「5 文章作成や文章表現の力」とは13.3%の差があった。

表 4-7 全修了生が従事する事業所（120件）における  
三重大学大学院の教育において養成することが望ましいと思われる力

項目	人数	%
1 広い視野で多面的に考える力	88	73.3%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	67	55.8%
3 外国語でコミュニケーションをする力	19	15.8%
4 人と共同して仕事をする力	89	74.2%
5 文章作成や文章表現の力	35	29.2%
6 情報を収集して適切に処理する力	55	45.8%
7 一般常識	38	31.7%
8 基礎学力	44	36.7%
9 専門知識や技術	62	51.7%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	85	70.8%
11 自立的に自らが決断する力	72	60.0%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	84	70.0%

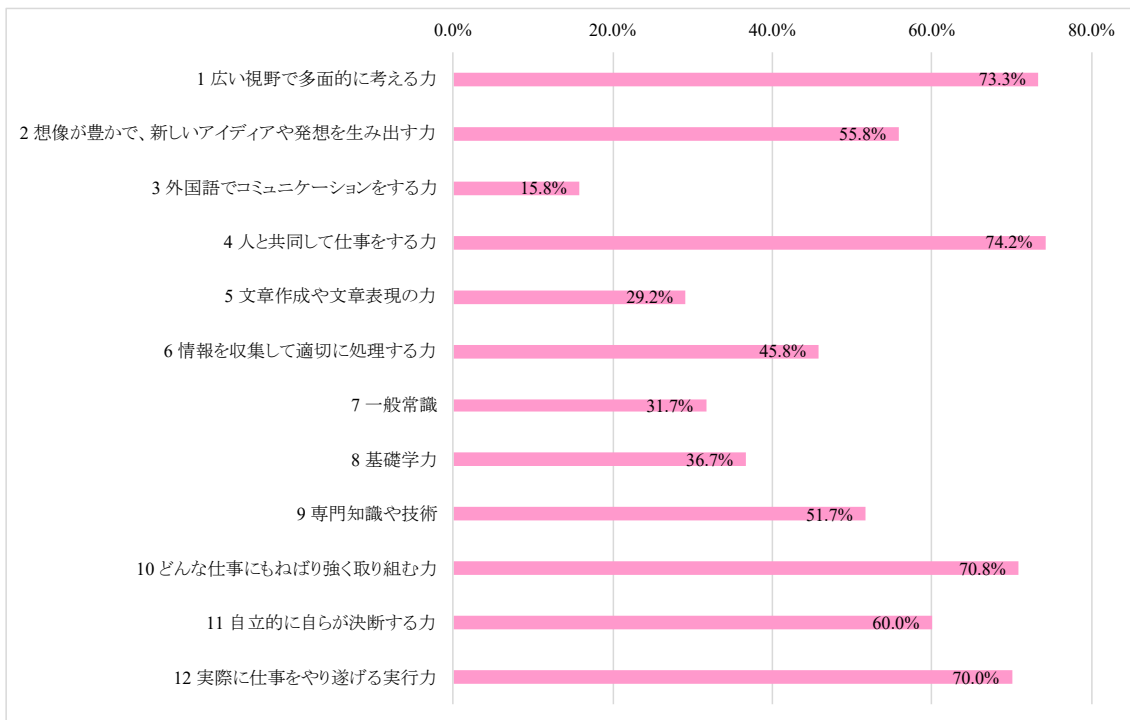


図 4-7 全修了生が従事する事業所（120 件）における  
三重大学大学院の教育において養成することが望ましいと思われる力の選択率

## 5. 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力

### 5.1 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（卒業生）

事業所に対して、新人研修や新人教育を行う際に重要視している力をたずねた。回答は、17個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。全卒業生及び卒業学部別に各項目を選択した人数とその割合を算出した。

#### 5.1.1 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（全卒業生）

三重大学卒業生が従事する事業所の回答（297件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「15 コミュニケーション力」、「11 チームで働く力」、「14 社会人マナー」、「9 責任感」、「7 人を理解する力」などであった。後述するように、これらのうち「15 コミュニケーション力」はすべての卒業学部において上位2つの項目に含まれた。一方、「その他」を除き、選択率が最も低かった項目は、低い順に「4 企画する力」、「3 想像する力」、「10 支援・指導する力」であった。

表 5-1 全卒業生が従事する事業所（297件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	111	37.4%
2 分析する力	105	35.4%
3 想像する力	74	24.9%
4 企画する力	72	24.2%
5 判断する力	147	49.5%
6 実行する力	170	57.2%
7 人を理解する力	193	65.0%
8 状況を理解する力	175	58.9%
9 責任感	195	65.7%
10 支援・指導する力	80	26.9%
11 チームで働く力	242	81.5%
12 職業的スキル	92	31.0%
13 忍耐力	88	29.6%
14 社会人マナー	223	75.1%
15 コミュニケーション力	261	87.9%
16 切磋琢磨し合える力	104	35.0%
17 その他	4	1.3%

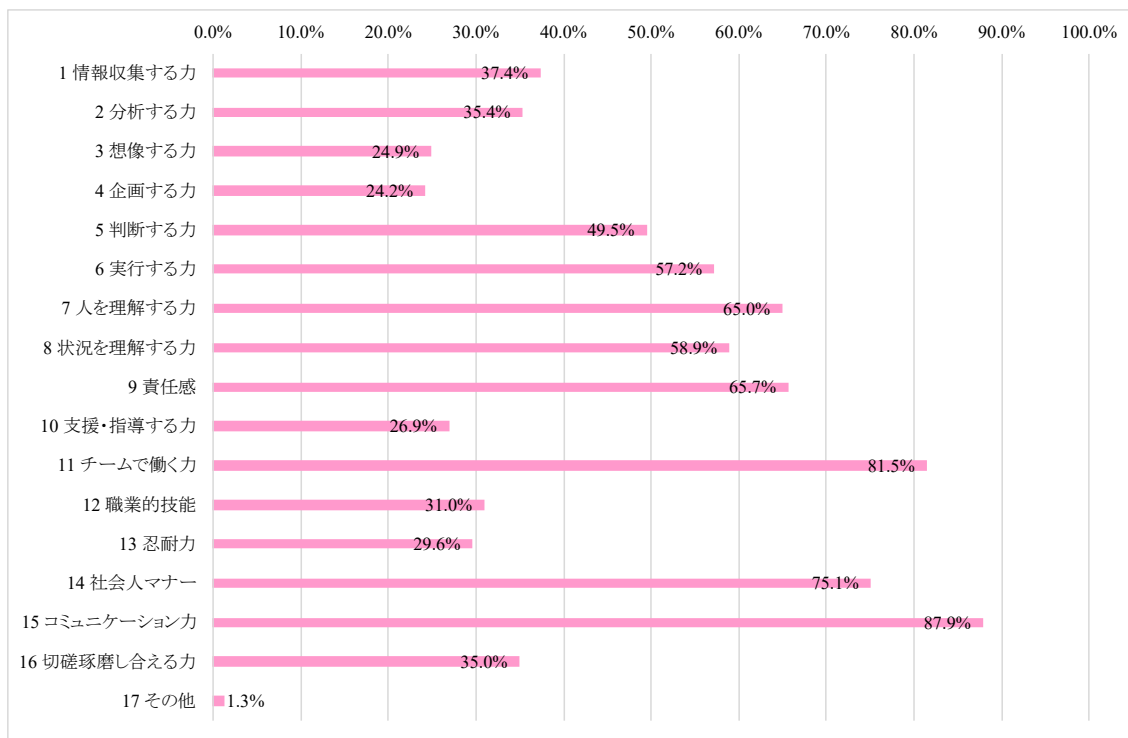


図 5-1 全卒業生が従事する事業所（297 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

### 5.1.2 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（人文学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、人文学部卒業生に対する事業所の回答（83件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「15 コミュニケーション力」、「14 社会人マナー」、「9 責任感」、「11 チームで働く力」、「7 人を理解する力」であった。一方、「その他」を除き、選択率が最も低かった項目は「13 忍耐力」で、次いで「想像する力」、「4 企画する力」、「10 支援・指導する力」が低かった。

表 5-2 人文学部卒業生が従事する事業所（83件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	30	36.1%
2 分析する力	33	39.8%
3 想像する力	23	27.7%
4 企画する力	23	27.7%
5 判断する力	48	57.8%
6 実行する力	46	55.4%
7 人を理解する力	58	69.9%
8 状況を理解する力	47	56.6%
9 責任感	61	73.5%
10 支援・指導する力	23	27.7%
11 チームで働く力	60	72.3%
12 職業的スキル	28	33.7%
13 忍耐力	22	26.5%
14 社会人マナー	64	77.1%
15 コミュニケーション力	78	94.0%
16 切磋琢磨し合える力	36	43.4%
17 その他	3	3.6%

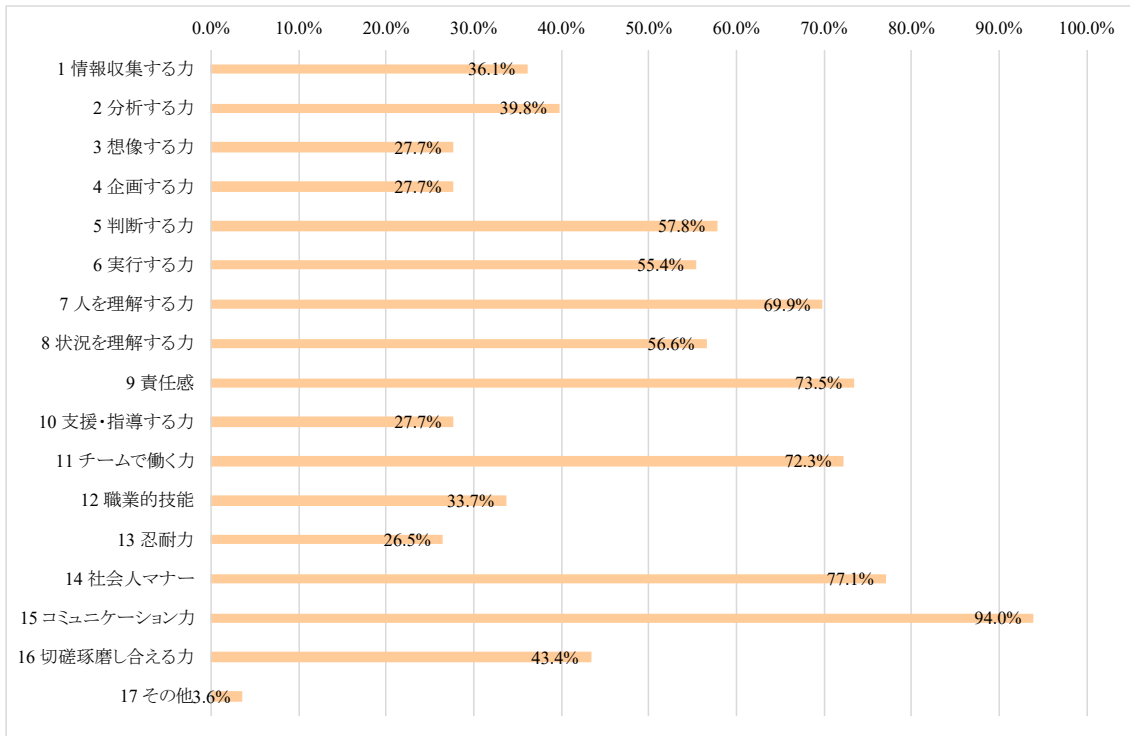


図 5-2 人文学部卒業生が従事する事業所（83 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

### 5.1.3 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（教育学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、教育学部卒業生に対する事業所の回答（81件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「11 チームで働く力」、「15 コミュニケーション力」、「7 人を理解する力」、「6 実行する力」、「9 責任感」などであった。一方、「その他」を除き、選択率が最も低かった項目は「16 切磋琢磨し合える力」で、次いで「3 想像する力」と「4 企画する力」が低かった。

表 5-3 教育学部卒業生が従事する事業所（81件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	34	42.0%
2 分析する力	26	32.1%
3 想像する力	25	30.9%
4 企画する力	25	30.9%
5 判断する力	41	50.6%
6 実行する力	55	67.9%
7 人を理解する力	60	74.1%
8 状況を理解する力	49	60.5%
9 責任感	52	64.2%
10 支援・指導する力	36	44.4%
11 チームで働く力	68	84.0%
12 職業的技能	31	38.3%
13 忍耐力	34	42.0%
14 社会人マナー	50	61.7%
15 コミュニケーション力	64	79.0%
16 切磋琢磨し合える力	23	28.4%
17 その他	0	0.0%

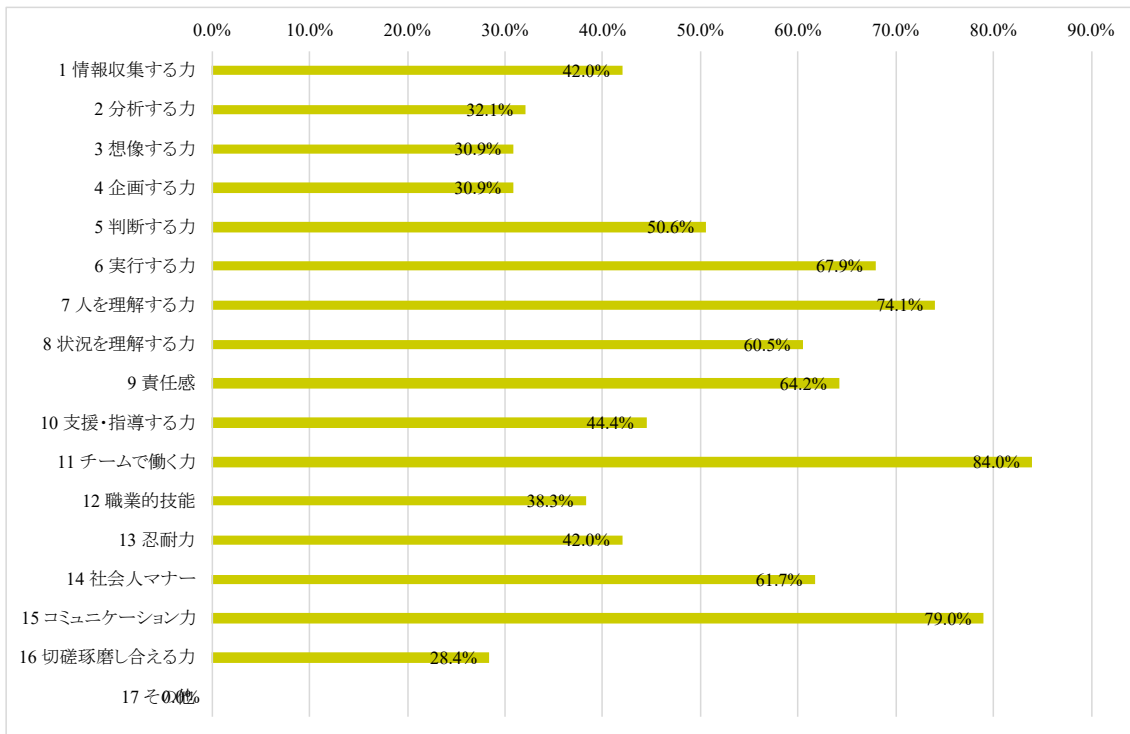


図 5-3 教育学部卒業生が従事する事業所（81 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

#### 5.1.4 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（医学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、医学部卒業生に対する事業所の回答（18件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「15 コミュニケーション力」、「14 社会人マナー」、「11 チームで働く力」、「8 状況を理解する力」、「7 人を理解する力」であった。一方、「17 その他」を除き、選択率が最も低かった項目は「4 企画する力」であった。次いで、「3 想像する力」と「12 職業的技能」が低かった。

表 5-4 医学部卒業生が従事する事業所（18件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	11	61.1%
2 分析する力	12	66.7%
3 想像する力	4	22.2%
4 企画する力	3	16.7%
5 判断する力	12	66.7%
6 実行する力	12	66.7%
7 人を理解する力	13	72.2%
8 状況を理解する力	15	83.3%
9 責任感	12	66.7%
10 支援・指導する力	5	27.8%
11 チームで働く力	16	88.9%
12 職業的技能	4	22.2%
13 忍耐力	6	33.3%
14 社会人マナー	17	94.4%
15 コミュニケーション力	18	100.0%
16 切磋琢磨し合える力	7	38.9%
17 その他	0	0.0%

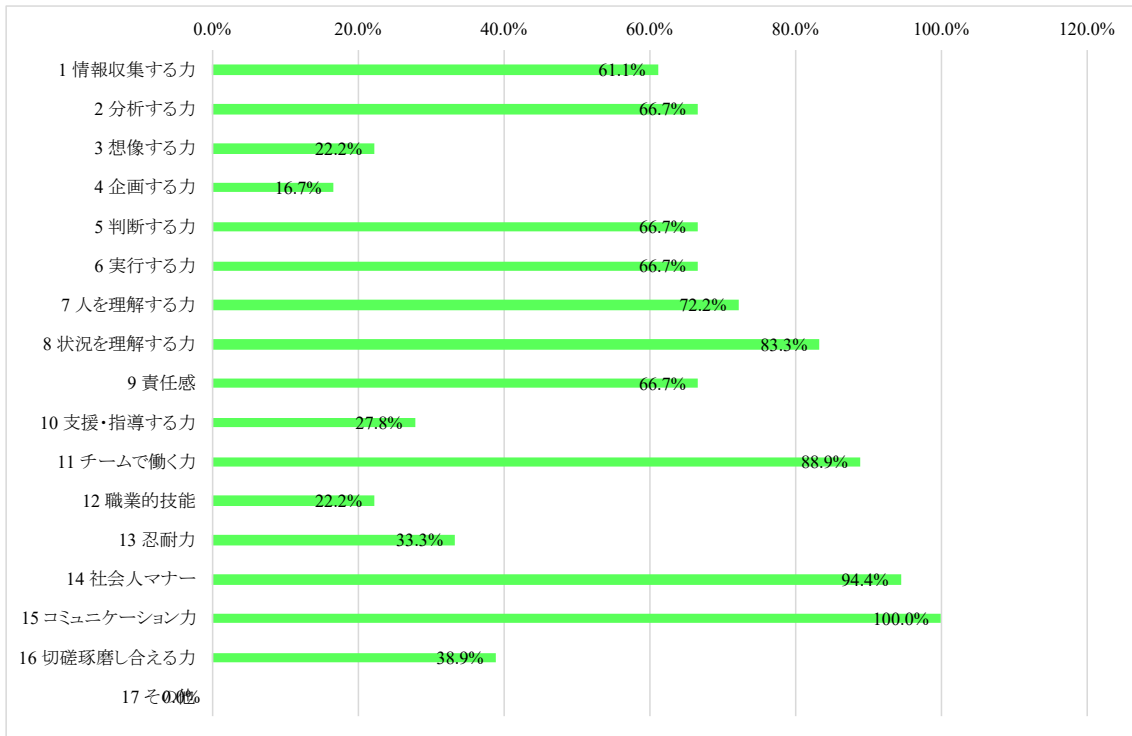


図 5-4 医学部卒業生が従事する事業所（18 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

### 5.1.5 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（工学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、工学部卒業生に対する事業所の回答（56件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「15 コミュニケーション力」、「11 チームで働く力」、「14 社会人マナー」、「9 責任感」、「8 状況を理解する力」、「7 人を理解する力」であった。一方、「その他」を除き、選択率が最も低かった項目は、低い順に「4 企画する力」、「3 想像する力」、「10 支援・指導する力」であった。

表 5-5 工学部卒業生が従事する事業所（56件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	17	30.4%
2 分析する力	19	33.9%
3 想像する力	11	19.6%
4 企画する力	8	14.3%
5 判断する力	18	32.1%
6 実行する力	26	46.4%
7 人を理解する力	30	53.6%
8 状況を理解する力	30	53.6%
9 責任感	31	55.4%
10 支援・指導する力	11	19.6%
11 チームで働く力	47	83.9%
12 職業的スキル	16	28.6%
13 忍耐力	14	25.0%
14 社会人マナー	41	73.2%
15 コミュニケーション力	48	85.7%
16 切磋琢磨し合える力	22	39.3%
17 その他	0	0.0%

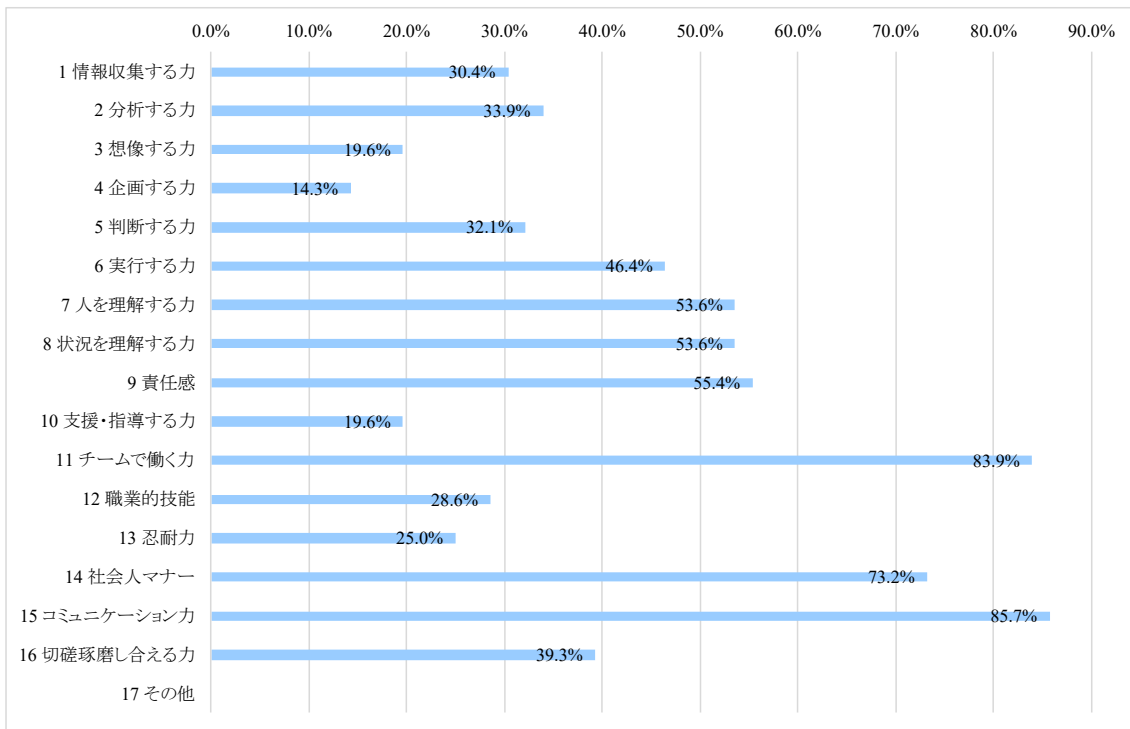


図 5-5 工学部卒業生が従事する事業所（56 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

### 5.1.6 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（生物資源学部卒業生）

三重大学卒業生のうち、生物資源学部卒業生に対する事業所の回答（52件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、選択率が高かった項目は、高い順に「15 コミュニケーション力」、「14 社会人マナー」、「11 チームで働く力」、「9 責任感」、「8 状況を理解する力」であった。一方、「その他」を除き、選択率が最も低かった項目は、低い順に「10 支援・指導する力」、「3 想像する力」であった。

表 5-6 生物資源学部卒業生が従事する事業所（52件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	17	32.7%
2 分析する力	11	21.2%
3 想像する力	8	15.4%
4 企画する力	11	21.2%
5 判断する力	24	46.2%
6 実行する力	27	51.9%
7 人を理解する力	27	51.9%
8 状況を理解する力	29	55.8%
9 責任感	34	65.4%
10 支援・指導する力	4	7.7%
11 チームで働く力	44	84.6%
12 職業的技能	12	23.1%
13 忍耐力	10	19.2%
14 社会人マナー	44	84.6%
15 コミュニケーション力	47	90.4%
16 切磋琢磨し合える力	14	26.9%
17 その他	1	1.9%

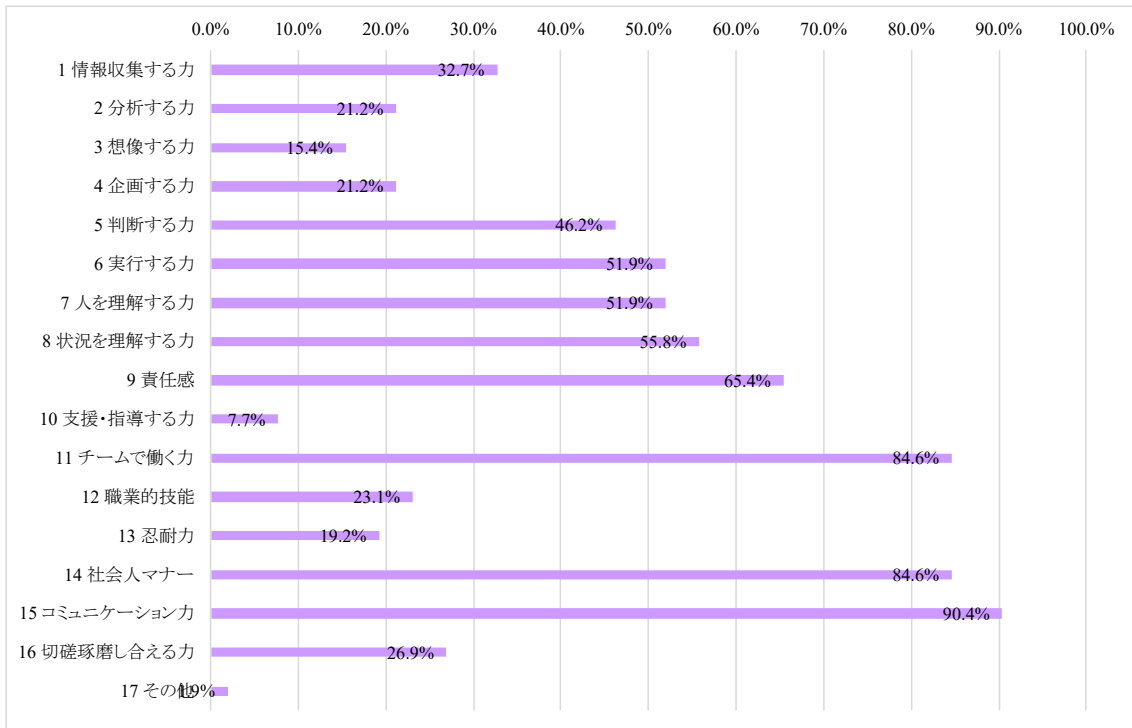


図 5-6 生物資源学部卒業生が従事する事業所（61 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

## 5.2 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力（全修了生）

事業所に対して、新人研修や新人教育を行う際に重要視している力をたずねた。回答は、17個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。以下、三重大学大学院の修了生が従事する事業所の回答（120件）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した結果である。選択率が高かった項目は、高い順に「15 コミュニケーション力」、「11 チームで働く力」、「6 実行する力」、「9 責任感」、「14 社会人マナー」であった。一方、「その他」を除き、選択率が最も低かった項目は、低い順に「10 支援・指導する力」、「12 職業的スキル」、「13 忍耐力」、「3 想像する力」であった。

表 5-7 全修了生が従事する事業所（120件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力

項目	人数	%
1 情報収集する力	45	37.5%
2 分析する力	50	41.7%
3 想像する力	31	25.8%
4 企画する力	44	36.7%
5 判断する力	46	38.3%
6 実行する力	88	73.3%
7 人を理解する力	66	55.0%
8 状況を理解する力	70	58.3%
9 責任感	76	63.3%
10 支援・指導する力	20	16.7%
11 チームで働く力	89	74.2%
12 職業的スキル	26	21.7%
13 忍耐力	28	23.3%
14 社会人マナー	75	62.5%
15 コミュニケーション力	101	84.2%
16 切磋琢磨し合える力	38	31.7%
17 その他	3	2.5%

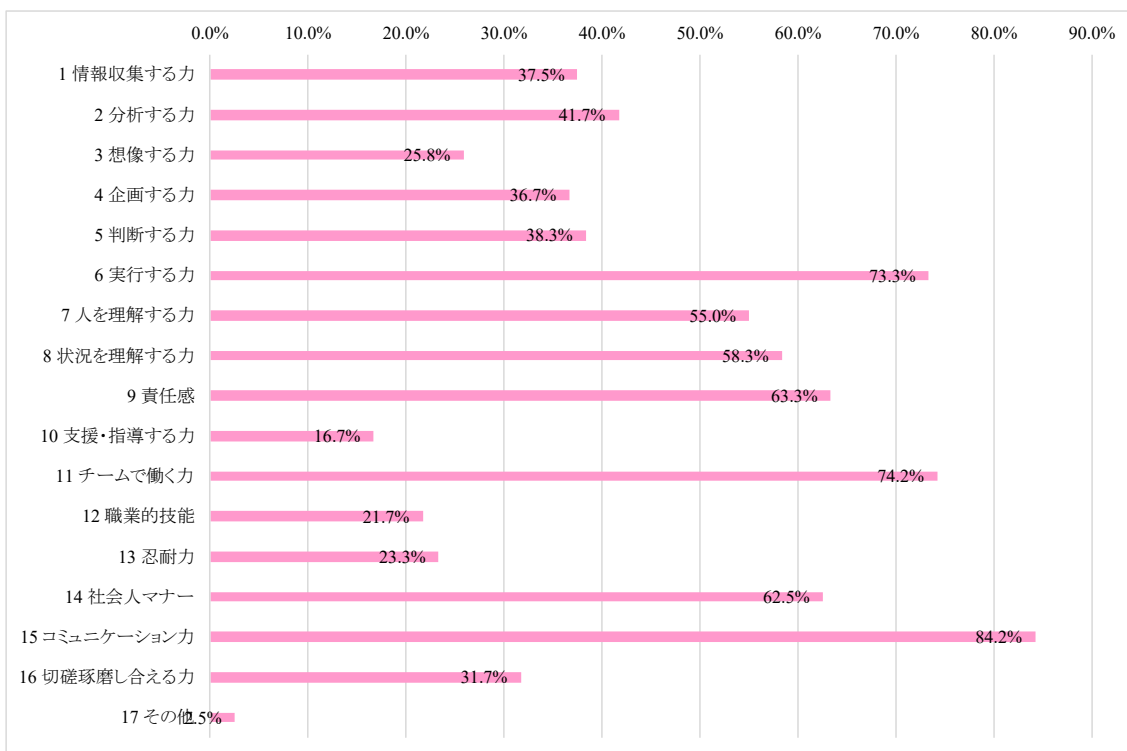


図 5-7 全修了生が従事する事業所（120 件）における  
新人研修や新人教育で重要視する力の選択率

— 資料 —

## アンケート用紙

事業所対象（卒業生就職先）

事業所対象（修了生就職先）

三重大学卒業生についてのアンケート 事業所(卒業生就職先)

今年度、貴事業所に就職した三重大学卒業生に関して御存知の範囲で御回答をお願いします。

- ・卒業生の情報については、別紙「卒業生リスト」も御参考ください。
- ・1枚のアンケート用紙へは1名の卒業生について御回答をお願いします。

I. はじめに、卒業生の基本事項についてお伺いいたします。

問1 卒業学部 [ 人文・教育・医・工・生物資源 ]  
 問2 学科・課程 [ ]

II. 三重大学の卒業生に対する評価についてお伺いいたします。

問3 三重大学では、次に掲げる各要素からなる「4つの力」

(「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」)を身に付けた学生に対して、学位を授与する方針を掲げています。今年度、貴事業所に就職した三重大学卒業生はそれらの要素がどのくらい身についていると思われますか。それぞれの項目で、当てはまる数字に○をつけてください。

	身につけていない	わずかが身についている	少し身についている	ある程度身についている	十分身についている	評価できない
1. 「感じる力」の感性・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
2. 「感じる力」の共感・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
3. 「感じる力」の主体性・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
4. 「考える力」の幅広い教養・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
5. 「考える力」の専門知識・技術・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
6. 「考える力」の論理的・批判的思考力・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
7. 「コミュニケーション力」の表現力(発表・対論・対話)・・・	1	2	3	4	5	6
8. 「コミュニケーション力」のリーダーシップ・フォロワーシップ・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
9. 「コミュニケーション力」の実践外国語力・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
10. 「生きる力」の問題発見・解決力・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
11. 「生きる力」の心身の健康に対する意識・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6
12. 「生きる力」の社会人としての態度・倫理観・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6

III. 三重大学の教育に対して期待されるものについてお伺いいたします。

問4 問3でお聞きした三重大学の「4つの力」の各要素のうち、貴事業所での仕事においてどれが重要だと思われますか。  
当てはまるものすべてについて、チェックボックスへチェックをお願いします。  
 チェックを入れる項目はいくつでも構いません。 (チェックを入れる例)

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 感性            | <input type="checkbox"/> 2. 共感               | <input type="checkbox"/> 3. 主体性        |
| <input type="checkbox"/> 4. 幅広い教養         | <input type="checkbox"/> 5. 専門知識・技術          | <input type="checkbox"/> 6. 論理的・批判的思考力 |
| <input type="checkbox"/> 7. 表現力（発表・討論・対話） | <input type="checkbox"/> 8. リーダーシップ・フォロワーシップ |  |
| <input type="checkbox"/> 9. 実践外国語力        | <input type="checkbox"/> 10. 問題発見・解決力        |  |
| <input type="checkbox"/> 11. 心身の健康に対する意識  | <input type="checkbox"/> 12. 社会人としての態度・倫理観   |  |

問5 次の項目のうち、三重大の教育においてどれを養成することが望ましいと思われますか。当てはまるものすべてについて、チェックボックスへチェックをお願いします。 チェックを入れる項目はいくつでも構いません。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 広い視野で多面的に考える力           |  |
| <input type="checkbox"/> 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力 |  |
| <input type="checkbox"/> 外国語でコミュニケーションをする力       | <input type="checkbox"/> 人と共同して仕事をする力      |
| <input type="checkbox"/> 文章作成や文章表現の力             | <input type="checkbox"/> 情報を収集して適切に処理する力   |
| <input type="checkbox"/> 一般常識                    | <input type="checkbox"/> 基礎学力              |
| <input type="checkbox"/> 専門知識や技術                 | <input type="checkbox"/> どんな仕事にもねばり強く取り組む力 |
| <input type="checkbox"/> 自立的に自らが決断する力            | <input type="checkbox"/> 実際に仕事をやり遂げる実行力    |

IV. 新人研修や新人教育についてお伺いいたします。

問6 貴事業所が新人研修・新人教育を行う際に、どのような力を重要視されていますか。当てはまるものすべてについて、チェックボックスへチェックをお願いします。 チェックを入れる項目はいくつでも構いません。

- |                                    |                                   |                                     |
|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 情報収集する力   | <input type="checkbox"/> 分析する力    | <input type="checkbox"/> 構想する力      |
| <input type="checkbox"/> 企画する力     | <input type="checkbox"/> 判断する力    | <input type="checkbox"/> 実行する力      |
| <input type="checkbox"/> 人を理解する力   | <input type="checkbox"/> 状況を理解する力 | <input type="checkbox"/> 責任感        |
| <input type="checkbox"/> 支援・指導する力  | <input type="checkbox"/> チームで働く力  | <input type="checkbox"/> 職業的スキル     |
| <input type="checkbox"/> 忍耐力       | <input type="checkbox"/> 社会人マナー   | <input type="checkbox"/> コミュニケーション力 |
| <input type="checkbox"/> 切磋琢磨し合える力 | <input type="checkbox"/> その他（     | ）                                   |

V. 三重大の教育や卒業生についてご意見・ご感想等がございましたら、下の枠内にご記入ください。

※ご協力いただきましてありがとうございました。

## 三重大学大学院修了生についてのアンケート 事業所(修了生就職先)

今年度、貴事業所に就職した三重大学大学院修了生に関して御存知の範囲で御回答をお願いします。

- ・修了生の情報については、別紙「修了生リスト」も御参考ください。
- ・1枚のアンケート用紙へは1名の修了生について御回答をお願いします。

I. はじめに、修了生の基本事項についてお聞きします。

問1 修了研究科 [ 人文社会科学 ・ 教育学 ・ 医学系 ・ 工学 ・ 生物資源学 ・ 地域イノベーション学 ]

問2 専攻 [ ]

II. 三重大学大学院修了生に対する評価についてお伺いいたします。

問3 三重大学大学院では、次に掲げる各要素からなる「4つの力」

(「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」)を身に付けた学生に対して、学位を授与する方針を掲げています。今年度、貴事業所に就職した三重大学大学院修了生はそれらの要素がどのくらい身についていると思われますか。それぞれの項目で、当てはまる数字に○をつけてください。

		1	2	3	4	5	6
	身についていない						
	わずかが身についている						
	少し身についている						
	ある程度身についている						
	十分身についている						
	評価できない						
1. 「感じる力」の感性・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
2. 「感じる力」の共感・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
3. 「感じる力」の主体性・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
4. 「考える力」の幅広い教養・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
5. 「考える力」の専門知識・技術・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
6. 「考える力」の論理的・批判的思考力・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
7. 「コミュニケーション力」の表現力(発表・対論・対話)・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
8. 「コミュニケーション力」のリーダ <sup>リーダー</sup> シップ・フォロ <sup>フォロ</sup> ーシップ・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
9. 「コミュニケーション力」の実践外国語力・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
10. 「生きる力」の問題発見・解決力・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
11. 「生きる力」の心身の健康に対する意識・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6
12. 「生きる力」の社会人としての態度・倫理観・・・・・・・・・・・・・・・・		1	2	3	4	5	6

III. 三重大学大学院の教育に対して期待されるものについてお伺いします。

問4 問3でお聞きした三重大学大学院の「4つの力」の各要素のうち、貴事業所での仕事においてどれが重要だと思われますか。  
 当てはまるものすべてについて、チェックボックスへチェックをお願いします。  
 チェックを入れる項目はいくつでも構いません。 (チェックを入れる例)

